

UNI-PEX

工事説明書（書込編）

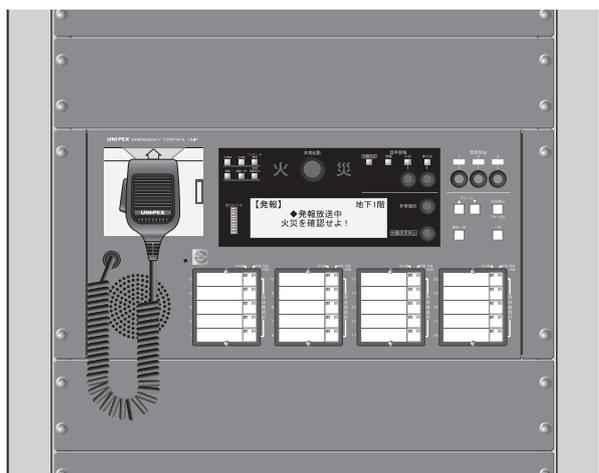
ラック形非常用放送設備

EL-3000シリーズ

大形ラック

中形ラック

EL-3201 EL-3151



このたびは、ユニペックス非常用放送設備をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

お買い上げの非常用放送設備を正しく設置いただくためにこの工事説明書(書込編)をよくお読みください。また、お読みになった後は必ず保存してください。

目次

プログラムの設定内容

- 緊急地震放送の設定 2
- 非常放送の設定 3
- 業務放送の設定 4~5
- ブロックスイッチの設定 6

書込設定のしかた

- 基本操作 7~8
- 書込設定の初期化および更新 9
- 書込設定の主要手順 10
- システム構成確認 11
- ブロックスイッチ設定 12~13
- 蓄電池の自動点検時間の設定 13
- 緊急地震放送の設定 14~15
- 非常放送の設定 15~20

- 業務放送の設定 21~25
- SP回線の設定 26
- ブザーの設定 26
- 汎用出力の設定 27
- LCD画面の濃淡の設定 28
- 緊急用電源の設定 28
- 時刻の設定 29

- 書込設定の確認のしかた 30~35
- 総合点検のしかた 36~38
- ログの確認のしかた 39
- バックアップのしかた 40~41
- USBメモリの接続のしかた 42~43
- パソコンの接続について 43
- サポートのご案内 44

プログラムの設定内容

本機は、非常および業務放送の動作モードを、プログラムの書込みにより設定できます。
納入システムの仕様に合わせ、設定時にマイク扉内のスイッチ等でプログラムの書込みを行ってください。

■緊急地震放送の設定

(1)放送先の設定

- ・ 緊急地震放送の放送先を設定します。

(2)シグナル音の設定

- ・ 緊急地震放送のシグナル音を設定します。
シグナル音は、原則として日本放送協会が作成した報知音(NHKチャイム音)を使用してください。
ただし、「緊急地震速報(警報)」(最大震度5弱以上と予想した場合に、予想した震度が4以上の地域に対して気象庁が発表する)に整合していない場合や、騒音等でNHKチャイム音は聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC)が作成したサイン音(ヒュン ヒュン ヒュン)に変更することができます。

出荷時の初期設定

項目	初期設定	設定及び変更
(1)放送先	一斉放送	階別
(2)シグナル音	NHK	REIC

■非常放送の設定

(1)自火報入力設定

- ・ 出火階を設定し、階情報を設定します。

(2)タイマー設定

●第1タイマーの時間設定

- ・ 感知器起動および手動起動からタイムアップにより「火災放送」に移行するタイマーの時間を設定します。
- ・ 2分～15分(秒単位) ※5分を超える設定にする場合は、消防署の許可が必要です。

●第2タイマーの時間設定

- ・ 火災放送からタイムアップにより「一斉火災放送」に移行するタイマーの時間を設定します。
- ・ 時間設定：2分～15分(秒単位) ※5分を超える設定にする場合は、消防署の許可が必要です。
- ・ 0秒 : 発報放送から即一斉火災放送に移行します。
- ・ OFF : 区分火災放送を継続し、一斉火災放送には移行しません。

(3)音声メッセージ設定

●言語の設定

- ・ 音声メッセージを「日本語」、「日本語+英語」、「日+英+第2外国語(中国語)」、「日+英+第2外国語(中国語)+第3外国語(韓国語)」のいずれかに設定します。

●発報・火災放送の選択

- ・ 発信機起動及び非常電話起動または手動起動時に開始する非常放送を、「発報放送」と「火災放送」のどちらかに設定します。

●発報一斉連動の選択

- ・ 非常起動時の発報放送の連動鳴動方式を設定します。
 - ・ 発報連動 : 非常起動時に発報放送を設定された放送階に放送します。
 - ・ 発報連動一斉 : 非常起動時に発報放送を全館一斉に放送します。
 - ・ 発報連動停止 : 非常起動時に発報放送は放送されず、火災音(ブザー音)が鳴動します。

●繰り返し回数設定

- ・ 音声メッセージを繰り返すか、連続で挿入するかを設定します。繰り返す場合は、回数及び間隔を設定します。

<回数設定>

- ・ 発報放送の音声メッセージの繰り返し回数を設定します。

<間隔設定>

- ・ 発報放送の音声メッセージの繰り返し間隔を設定します。

出荷時の初期設定

(4)スイッチ解除設定

- ・ 放送階選択スイッチの操作で放送階を解除する場合、階別単位か直上階を含めて解除するかを設定します。

(5)階別設定

- ・ 非常放送を手動起動する場合の放送階を設定します。

(6)音量設定

- ・ 第1シグナル音、第2シグナル音の音量を設定します。
- ・ 音量を変更するには「パスワード」が必要です。

※弊社営業所にお問い合わせください。

項目	初期設定	設定及び変更
(1)自火報入力	自火報入力 1:1 放送階：出火階+直上階 階情報なし	
(2)タイマー設定	第1タイマーの時間 2分(120秒)	2分～15分(秒単位)
	第2タイマーの時間 2分(120秒)	2分～15分(秒単位) 0秒 OFF
(3)音声メッセージの設定		
言語の設定	日本語	日本語+英語 日+英+第2外国語 日+英+第2外国語+第3外国語
発報・火災放送の選択	発報放送	火災放送
発報一斉連動	発報連動	発報連動一斉 発報連動停止
繰り返し回数・間隔	繰り返し回数：2回 繰り返し間隔：5秒	連続 繰り返し回数：2～5回 繰り返し間隔：5～60秒

プログラムの設定内容

■業務放送の設定

(1)優先順位の設定

- 緊急放送の優先順位設定
 - ・緊急放送スイッチと緊急制御入力端子の入力に対する優先順位を設定します。
- 一般業務放送の接続機器の優先順位設定
 - ・接続機器の優先順位を設定します。
- 一般業務放送の同一順位内の優先順位設定
 - ・同一順位内の優先順位を設定します。

(2)外部制御の設定

- ・外部制御入力端子に接続した機器の放送先及び出力モードを設定します。

(3)緊急放送・制御の設定

- ・緊急放送時の電源カトリレー (EMG24V) の動作を設定します。
- ・緊急放送スイッチ1、2、3に、内蔵された10個の緊急放送メッセージの中から1つ割り当てます。
- ・緊急制御入力端子1、2、3に、内蔵された10個の緊急放送メッセージの中から1つ割り当てます。
または外部音源を割り当てます。

出荷時の初期設定

項目	初期設定	設定及び変更
(1)優先順位		
緊急放送の設定	後取り	緊急放送スイッチ 緊急制御端子
一般業務放送の接続機器	全て順位1位	入力端子：一般リモコン、時報チャイム、予備1、予備2、ページング
一般業務放送の同一順位内	ミキシング	後取り
(2)外部制御		
基本 制御 端子 盤	入力端子番号1～20	一般リモコン 通常(1対1)
	入力端子番号21	一般リモコン 通常(一斉)
	入力端子番号22	一般リモコン 緊急(一斉)
	入力端子番号23	時報チャイム 緊急(一斉)
	入力端子番号24	予備1 通常(一斉)
	入力端子番号25	予備1 緊急(一斉)
	入力端子番号26	予備2 通常(一斉)
	入力端子番号27	ページング 通常(一斉)
	入力端子番号28	ページング 緊急(一斉)
増設 制御 端子 盤	入力端子番号29～58	設定なし
	入力端子番号59～88	設定なし
	入力端子番号89～118	設定なし
(3)緊急放送・制御		
EMG24V出力	ON	OFF
緊急放送	設定なし	緊急放送スイッチ1、2、3に内蔵音源を設定
緊急制御	設定なし	緊急制御端子1、2、3に内蔵音源もしくは外部音源を設定

緊急放送メッセージリスト

番号	メッセージ内容
01	(防犯警報音) 緊急事態発生、緊急事態発生、緊急事態発生。
02	ただいま停電が発生しました。復旧作業中ですので、しばらくお待ちください。繰り返します。 ただいま停電が発生しました。復旧作業中ですので、しばらくお待ちください。
03	(サイレン音) 火事です。落ち着いて避難してください。火事です。落ち着いて避難してください。
04	ただいま地震が発生しました。火の元を確認の上、倒壊物に注意して安全確保願います。繰り返します。 ただいま地震が発生しました。火の元を確認の上、倒壊物に注意して安全確保願います。
05	ただいま台風に関する警報が発令されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意し安全の確保に努めてください。繰り返します。 ただいま台風に関する警報が発令されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意し安全の確保に努めてください。
06	ただいま雷注意報が発表されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意して下さい。繰り返します。 ただいま雷注意報が発表されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意して下さい。
07	ただいま近隣で津波に関する警報が発表されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意し安全の確保に努めて下さい。繰り返します。 ただいま近隣で津波に関する警報が発表されました。今後のテレビ・ラジオ等の情報に注意し安全の確保に努めて下さい。
08	ただいま先ほどの警報は解除されました。繰り返します。 ただいま先ほどの警報は解除されました。
09	ただいまから避難訓練を実施します。繰り返します。 ただいまから避難訓練を実施します。 (サイレン音) 火事です。落ち着いて避難してください。火事です。落ち着いて避難してください。
10	ただいまから避難訓練を実施します。繰り返します。 ただいまから避難訓練を実施します。 ピロンポローン、ピロンポローン。(NHKチャイム音) 地震です。落ち着いて身を守ってください。地震です。落ち着いて身を守ってください。

※防犯警報音は、公益社団法人 日本防犯設備協会が制定した規格音です。

プログラムの設定内容

■ブロックスイッチの設定

- 非常業務操作ユニット(REE-3521)および増設スイッチユニット(RSE-3220)の放送階選択スイッチは、設定によりブロックスイッチとしても使用できます。
- 最大ブロック数は、本体とリモコンを合わせて100局です。ただし、階別選択スイッチとの関係は次の通りとなり、出力スピーカー回線がその分減少します。
(本体の階別選択スイッチ) + (本体のブロックスイッチ) + (非常業務リモコンのブロックスイッチ) ≤ 200
※非常業務リモコンのブロックスイッチが本体同等の場合は、この対象外です。
- 放送階選択スイッチのブロックスイッチ設定は、5局単位となります。

(1)機能の設定

- ・ブロックスイッチは設定により次の3モードの使い方ができます。
- ①非常専用ブロックスイッチ(非常放送時のみ動作)
非常放送時、一つの階としてまとめた複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。
- ②業務専用ブロックスイッチ(業務放送時のみ動作)
業務放送時、任意の複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。
- ③非常業務兼用ブロックスイッチ(非常放送時および業務放送時動作)
非常放送および業務放送時、一つの階としてまとめた複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。

(2)放送先の設定

- ・ブロックスイッチの放送先を任意の放送階選択スイッチから設定します。

(3)動作の設定

- ・ブロックスイッチと放送階選択スイッチとの連動動作を設定します。

ご注意

- ・ブロックスイッチの設定をしますと、その放送階選択スイッチに対応するスピーカー回線を制御する放送階選択スイッチが存在しなくなります。
- ・放送階選択スイッチとスピーカー回線の設定変更を行うが、ブロックスイッチ化したスピーカー回線を空き端子としたシステムとしてください。
- ・スピーカー回線の設定変更を行う場合は、26頁「SP回線の設定」をご覧ください。

出荷時の初期設定

項目	初期設定	設定及び変更
(1)機能	設定なし	非常専用 業務専用 非常業務兼用
(2)放送先	設定なし	任意のスピーカー回線を設定可能
(3)動作	放送階選択スイッチ連動	放送階選択スイッチ非連動

※ただし、非常専用または非常業務兼用ブロックスイッチは、非常放送時の1つの階単位での設定となります。

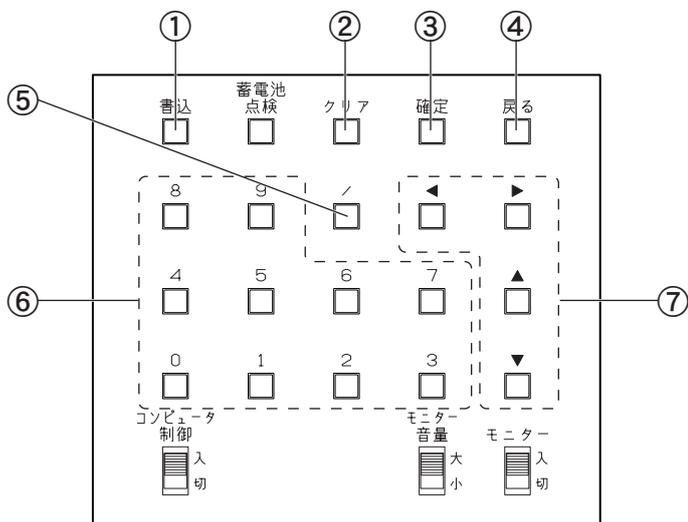
書込設定のしかた

■基本操作

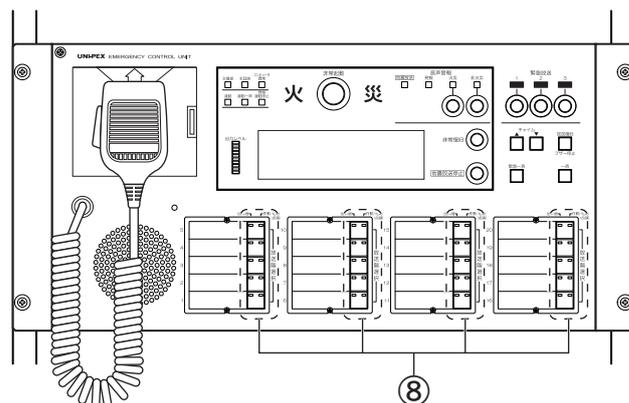
(1)各部の名称と説明

- ・書込み設定は、非常業務操作ユニットREE-3521のマイク扉内のスイッチおよび放送階選択スイッチ等の操作で行います。
- ・各スイッチの名称と動作機能は次のとおりです。

マイク扉内 (REE-3521)



REE-3521



① 書込スイッチ

- ・書込をおこなうときに使用します。書込モード時に押しと通常モードになります。

② クリアキー

- ・書込時、入力途中のデータを消去する場合に使用します。

③ 確定スイッチ

- ・書込時、入力内容を確定する場合に使用します。

④ 戻るスイッチ

- ・書込時、一つ前の設定入力画面に戻るときに使用します。

⑤ /キー

- ・書込時、複数の項目を選択するときに項目ごとの区切りに使用します。

⑥ 10キー

- ・書込時、数字入力が必要な場合に使用します。

⑦ カーソルキー

- ・書込時や状態確認時、表示項目移動するときに使用します。

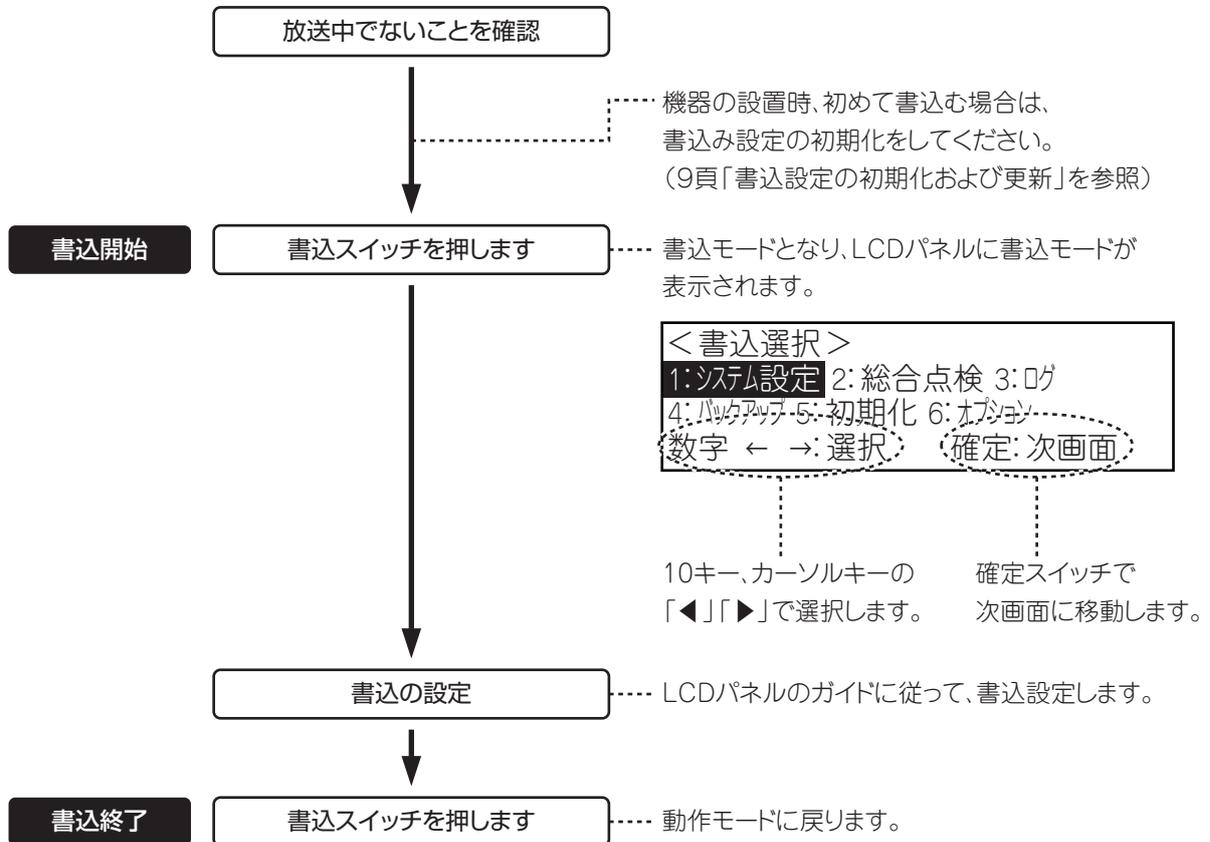
⑧ 放送階選択スイッチ

- ・放送階、出火階を設定する時に使用します。

書込設定のしかた

(2) 書込設定への手順

- ・ 放送中(外部制御入力および操作中等)は、書込スイッチを押しても書込設定は起動しません。放送終了後、書込スイッチを押してください。



■書込設定の初期化および更新

(1)書込設定の初期化

- ・本機は、出荷時には「初期設定」(設定内容は「初期設定及び設定変更」をご参照ください)されています。
- ・書込内容を初期設定内容に戻したい場合は、次の手順でおこなってください。

①非常業務操作盤ユニットREE-3521のマイク扉内にある書込スイッチを押します。
「5：初期化」を選択し、確定スイッチを押します。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検 3:07
4:バックアップ 5:初期化 6:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

②「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

<初期化>
設定値を初期化しますか
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:次画面

③再確認画面を表示します。
「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

<初期化>
初期化していいですか
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

④初期化中はキー操作が無効になります。

<初期化>
設定値を初期化しています
キー操作無効

⑤初期化が終了しますと初期画面に戻ります。

<初期化>
設定値の初期化を終了しました
戻る:初期画面

書込設定の初期化は以上です。

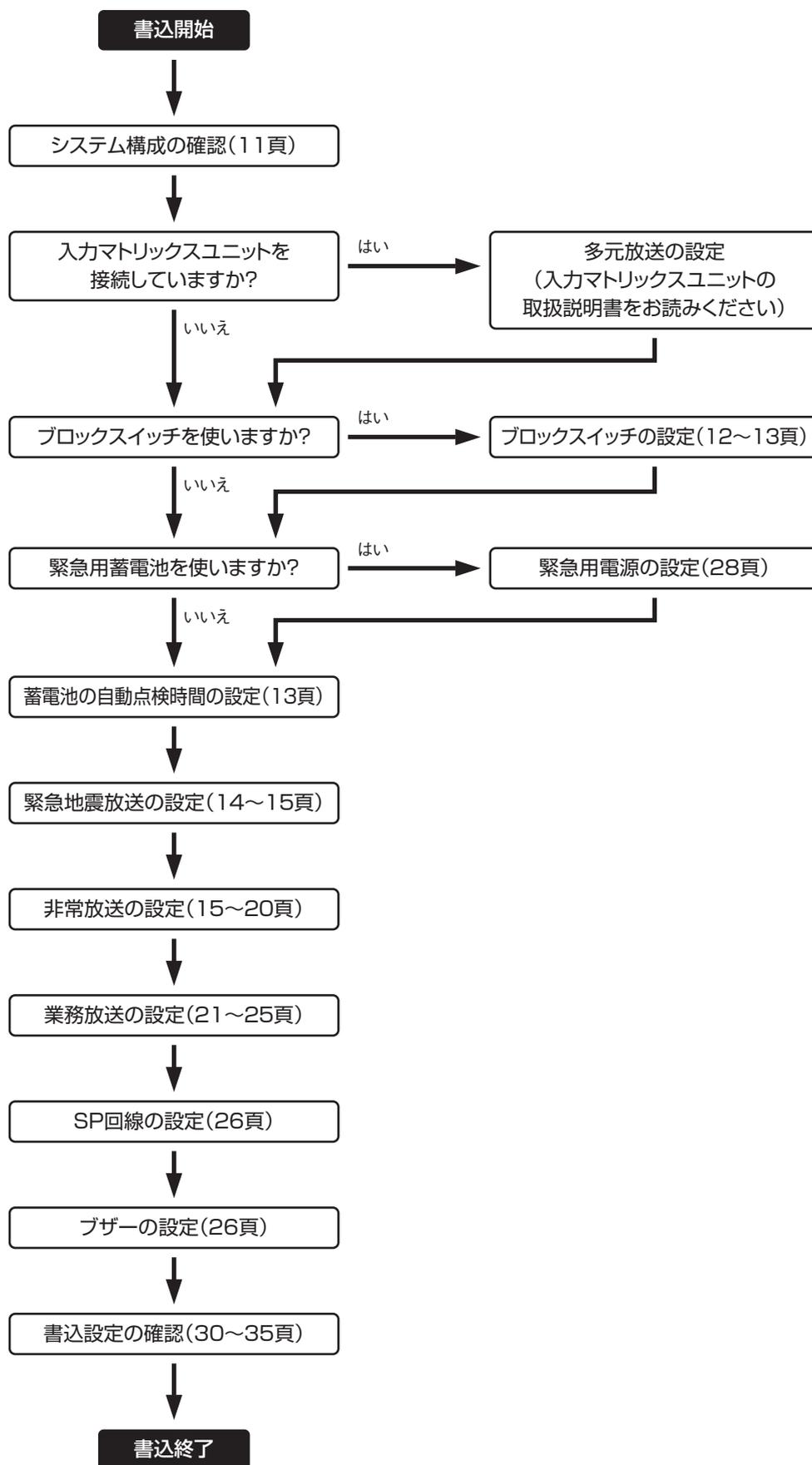
(2)書込設定の更新

- ・書込設定の内容は、後から設定した内容が上書きされます。(設定内容の追加にはなりません)

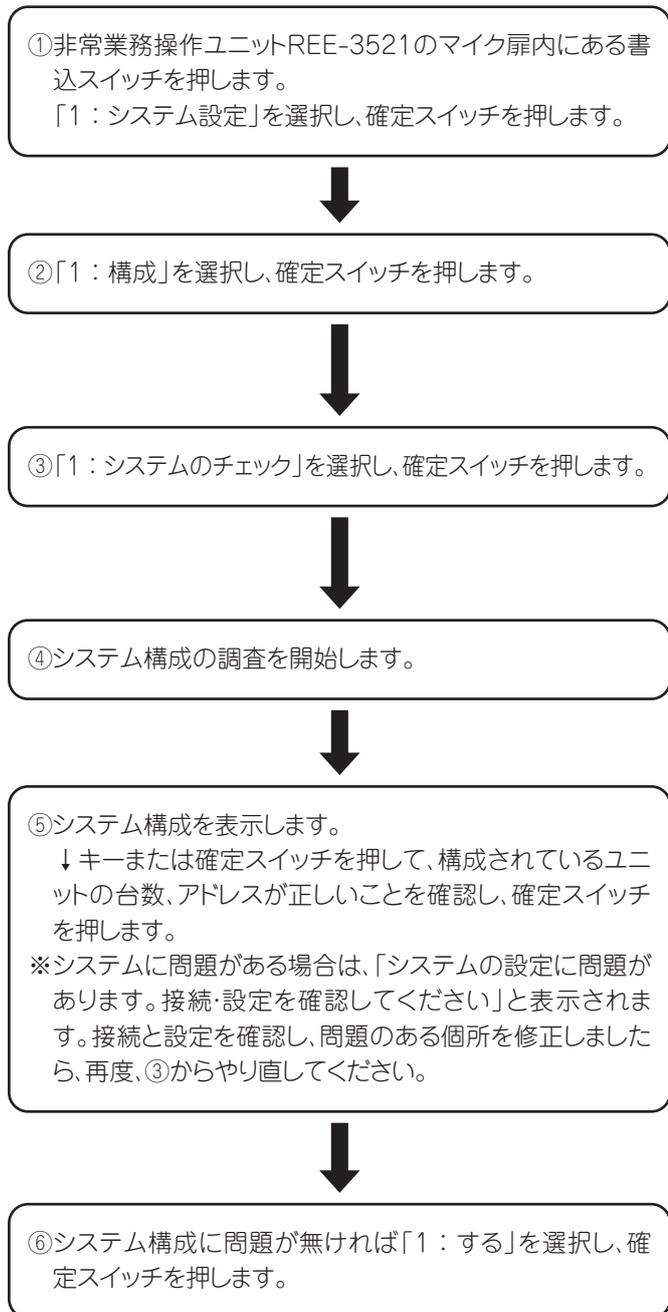
書込設定のしかた

■書込設定の主要手順

●次の手順で書込設定、確認をおこなってください。



■システム構成確認



システム構成の確認は以上です。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検 3:07
4:バックアップ 5:初期化 6:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム構成>
1:システムのチェック 2:構成表示
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システムチェック>
システムの構成を調査中です。
戻る:調査停止

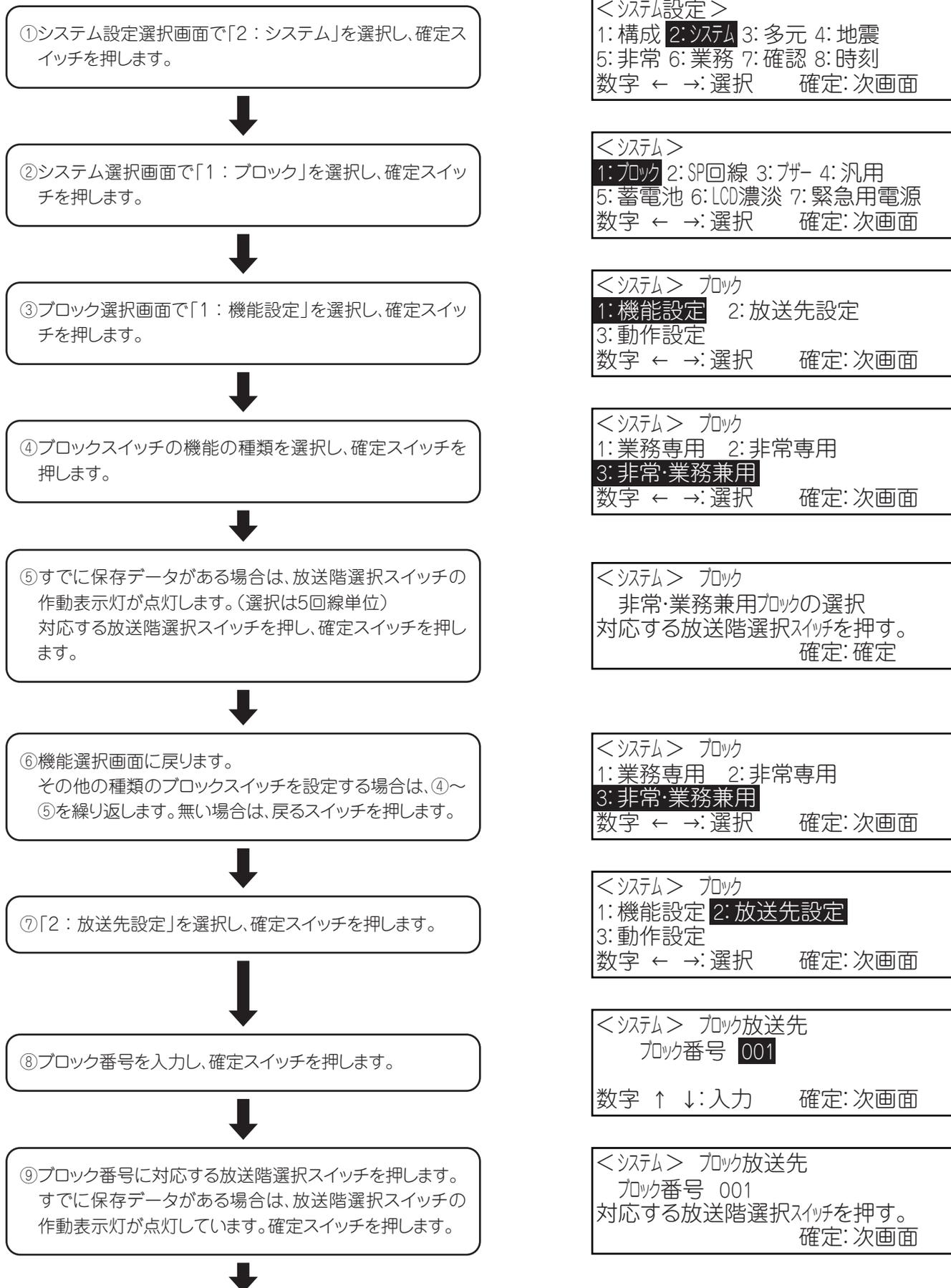
<システム構成>
非常RM 3台
抜け番号 なし
↑:前 ↓:次 確定:次画面

<システム構成>
システムの設定に問題があります。
接続・設定を確認してください。
戻る:初期画面へ

<システム構成>
システム構成を保存しますか?
1:する 2:しない
数字 ← →:選択 確定:確定

書込設定のしかた

■ブロックスイッチ設定(ブロックスイッチを使用する場合)





⑩ブロック番号に連動するタリー出力を設定します。
カーソルキーを操作して、タリー番号を入力します。
入力したら、確定スイッチを押します。
タリー出力が不要の場合は「00」のままで確定スイッチを押します。以降の設定でも同様です。

<システム> ブロック放送先
ブロック番号 001
外番号 00
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定



⑪設定したデータを保存し、次のブロック番号の設定画面に移ります。
⑧～⑩を繰り返して、ブロックスイッチを設定します。
設定が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

<システム> ブロック放送先
ブロック番号 002
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面



⑫ブロック選択画面で「3:動作設定」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム> ブロック
1:機能設定 2:放送先設定
3:動作設定
数字 ← →:選択 確定:次画面



⑬ブロックスイッチの動作について設定します。
・放送階選択スイッチ連動 :
割り当てられている放送階選択スイッチが一つでも選択されれば、ブロック選択となる。
・放送階選択スイッチ非連動 :
割り当てられている放送階選択スイッチを押してもブロック選択とはならない。

選択が終わりましたら、確定スイッチを押します。

<システム> ブロック動作
1:放送階選択スイッチ連動
2:放送階選択スイッチ非連動
数字 ← →:選択 確定:確定

ブロックスイッチの設定は以上です。

■蓄電池の自動点検時間の設定

①システム設定選択画面で「2:システム」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面



②システム選択画面で「5:蓄電池」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム>
1:ブロック 2:SP回線 3:プザー 4:汎用
5:蓄電池 6:LCD濃淡 7:緊急用電源
数字 ← →:選択 確定:次画面



③蓄電池の点検時間の開始時間を設定します。
カーソルキーの操作または数値を直接入力して、1～24時間の範囲で入力し、確定スイッチを押します。
設定した時間後に点検を開始し、以降24時間起きに点検をおこないます。

<システム> 蓄電池
自動点検時間 24時間後
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

蓄電池の自動点検時間の設定は以上です。

書込設定のしかた

■緊急地震放送の設定

(1)放送先設定

①システム設定選択画面で「4：地震」を選択し、確定スイッチを押します。



②「1：放送先設定」を選択し、確定スイッチを押します。



③放送先を設定します。
全ての放送階に放送する場合は「1：一齐放送」を選択し、確定スイッチを押して⑤に進んで下さい。
放送階を選択する場合は、「2：放送階を選択」を選択し、確定スイッチを押して④に進んで下さい。



④放送階選択スイッチを押して作動表示灯を点灯させます。確定スイッチを押します。



⑤緊急地震放送と連動して出力するタリー番号を入力し、確定スイッチを押します。

放送先の設定は以上です。

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<地震> 放送選択

1:放送先設定 2:シグナル音設定
3:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<地震> 放送先

1:一齐放送 2:放送階を選択
数字 ← →:選択 確定:次画面

<地震> 放送先

対応する放送階選択スイッチを押す。
確定:次画面

<地震> 放送先

外-番号 00
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

(2)シグナル音の設定

①「2：シグナル音設定」を選択し、確定スイッチを押します。



②シグナル音を選択して、確定スイッチを押します。
シグナル音は原則として「1：NHK」を設定してください。

シグナル音の設定は以上です。

<地震> 放送選択

1:放送先設定 2:シグナル音設定
3:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<地震> シグナル音選択

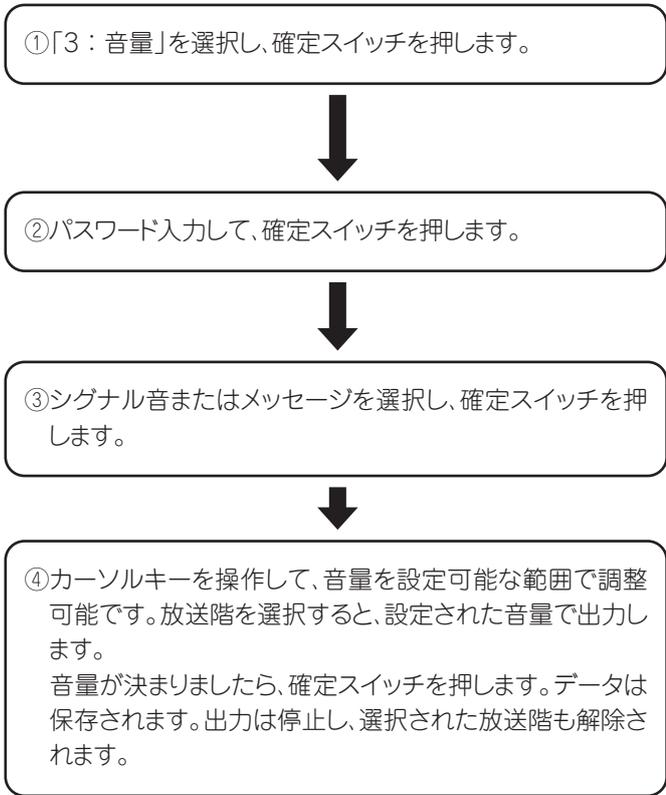
1:NHK 2:REIC
数字 ← →:選択 確定:確定

メモ

- ・緊急地震放送のシグナル音は、「緊急地震速報(警報)」(最大震度5弱以上と予想した場合に、予想した震度が4以上の地域に対して気象庁が発表する)に整合していない場合や、騒音等でNHKチャイム音では聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC)が作成したサイン音(ヒュンヒュンヒュン)に変更することができます。

(3) 音量の設定

・音量の設定はパスワードが必要になります。音量を変更したい場合は、弊社営業所にお問い合わせください。



音量の設定は以上です。

<地震> 放送選択
1: 放送先設定 2: シグナル音設定
3: **音量**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

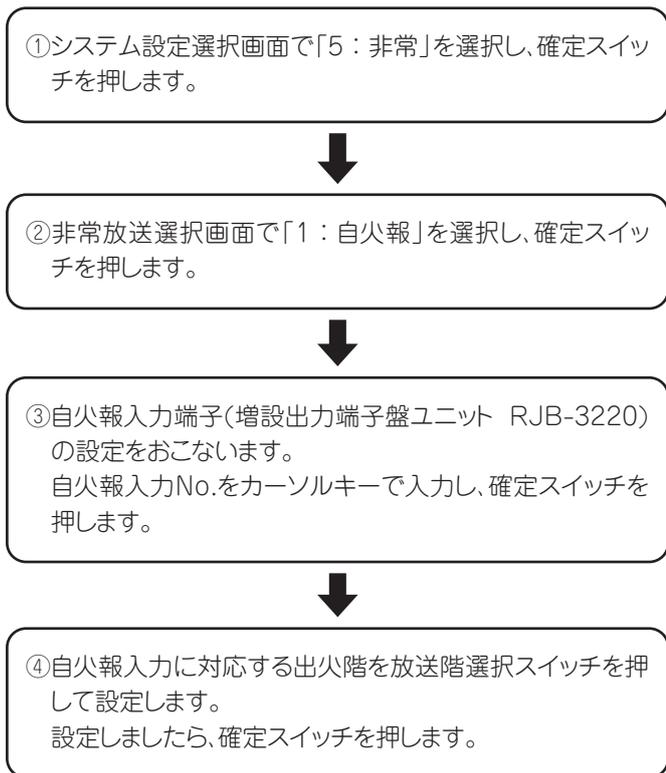
<地震> 音量設定
パスワードを入力して下さい
数字: 入力 確定: 次画面

<地震> 音量設定
1: **シグナル音**
2: **メッセージ**
↑: 前 ↓: 次 確定: 次画面

<地震> 音量設定
シグナル音量 **28**
放送階を選択して下さい
↑ ↓: 選択 確定: 確定

■非常放送の設定

(1) 自火報入力設定



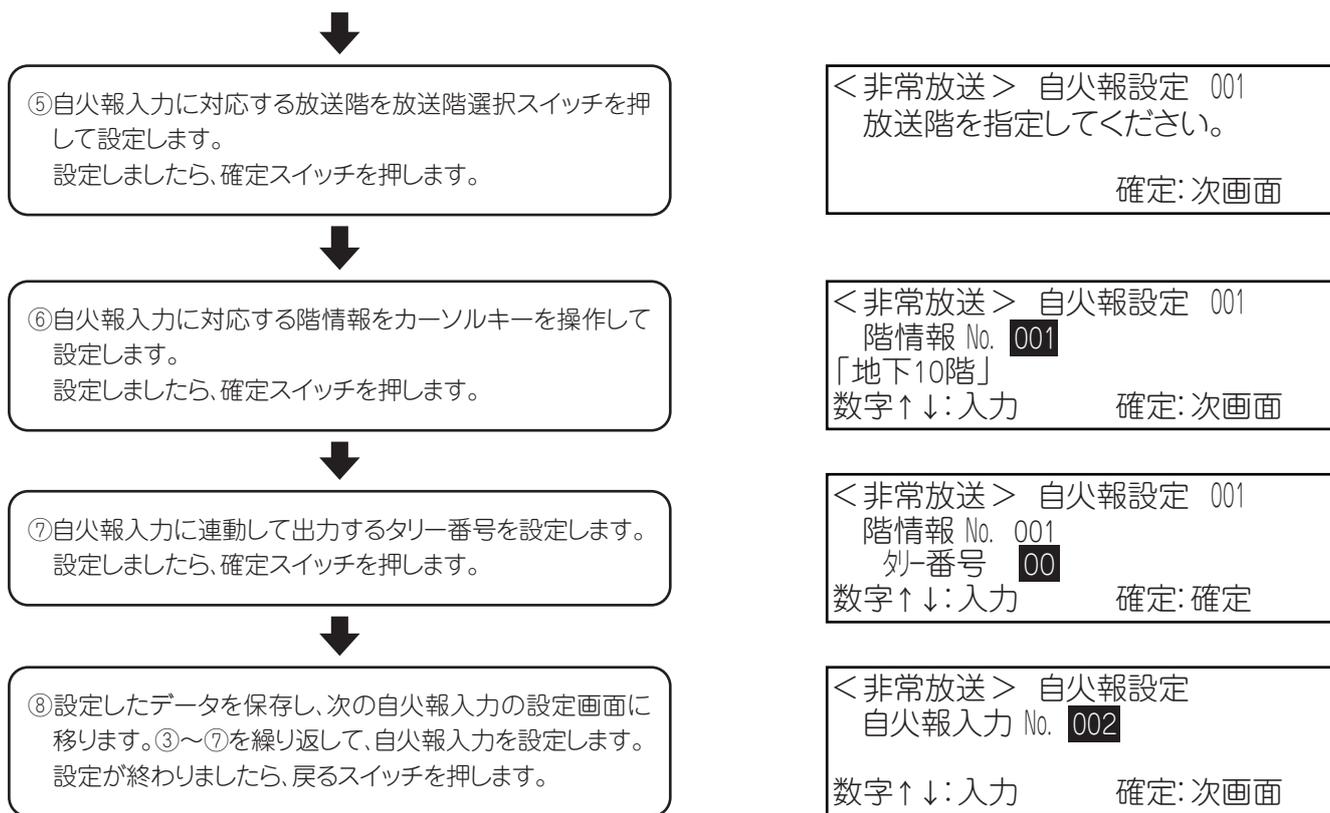
<システム設定>
1: 構成 2: システム 3: 多元 4: 地震
5: **非常** 6: 業務 7: 確認 8: 時刻
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<非常放送>
1: **自火報** 2: タイマー 3: 音声メッセージ
4: スイッチ解除 5: 階別 6: 音量
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<非常放送> 自火報設定
自火報入力 No. **001**
数字 ↑ ↓: 入力 確定: 次画面

<非常放送> 自火報設定 001
出火階を指定して下さい。
確定: 次画面

書込設定のしかた



■階情報No.のリスト

階情報No.	メッセージ
000	設定なし
001	地下10階
002	地下9階
003	地下8階
004	地下7階
005	地下6階
006	地下5階
007	地下4階
008	地下3階
009	地下2階
010	地下1階
011	1階
012	2階
013	3階
014	4階
015	5階
016	6階
017	7階
018	8階
019	9階
020	10階
021	11階
022	12階
023	13階
024	14階

階情報No.	メッセージ
025	15階
026	16階
027	17階
028	18階
029	19階
030	20階
031	21階
032	22階
033	23階
034	24階
035	25階
036	26階
037	27階
038	28階
039	29階
040	30階
041	31階
042	32階
043	33階
044	34階
045	35階
046	36階
047	37階
048	38階
049	39階

階情報No.	メッセージ
050	40階
051	屋上
052	階段
053	エレベーター
054	エスカレーター
055	体育館
056	講堂
057	機械室
058	駐車場
059	地下駐車場
060	屋上駐車場
061	エントランス
062	屋外
063	アリーナ
064	バックヤード
065	食堂

(2)タイマー設定

①非常放送選択画面で「2：タイマー」を選択し、確定スイッチを押します。

②第1タイマーを選択し、確定スイッチを押します。

③120秒～300秒を入力して確定スイッチを押します。
※301秒以上(最長900秒まで設定可能)で設定する場合は、消防署の許可が必要です。
許可が取れている場合は、「2：はい」を選択して、確定スイッチを押してください。

④第2タイマーを選択し、確定スイッチを押します。

⑤第2タイマーの時間を設定し、確定スイッチを押します。
・時間設定：120秒～900秒の範囲で設定できます。
・0秒：区分火災放送をせず、一斉火災放送に移行します。
・OFF：一斉火災放送に移行せず、火災放送を放送し続けます。

「時間設定」を選択した場合は、⑥に進んでください。

「0秒」または「OFF」を選択した場合は、確定スイッチを押して、第2タイマーの設定は終了します。

⑥120秒～300秒を入力して確定スイッチを押します。
※301秒以上(最長900秒まで設定可能)で設定する場合は、消防署の許可が必要です。
許可が取れている場合は、「2：はい」を選択して、確定スイッチを押してください。

タイマーの設定は以上です。

<非常放送>

1:自火報 2:タイマー 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別 6:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> タイマー設定

1:第1タイマー 2:第2タイマー
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> タイマー設定

第1タイマー-時間 120 秒
数字 ↑ ↓:選択 確定:確定

<非常放送> タイマー設定

5分以上ですが消防署の確認はとれていますか 1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

<非常放送> タイマー設定

1:第1タイマー 2:第2タイマー
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> タイマー設定

第2タイマー-設定
1:時間設定 2:0秒 3:OFF
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> タイマー設定

第2タイマー-時間 120 秒
数字 ↑ ↓:選択 確定:確定

<非常放送> タイマー設定

5分以上ですが消防署の確認はとれていますか 1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

書込設定のしかた

(3) 音声メッセージ設定

①非常放送選択画面で「3：音声メッセージ」を選択し、確定スイッチを押します。

<非常放送>
1:自火報 2:タイマー 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別 6:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

②非常放送の音声メッセージの言語を選択します。
選択しましたら、確定スイッチを押します。

- ・日本語 : 日本語の音声メッセージを放送します。
- ・日本語+英語 : 日本語の音声メッセージに続いて、英語の音声メッセージを放送します。
- ・日+英+第2 : 日本語、英語の音声メッセージに続いて、第2外国語の音声メッセージを放送します。
- ・日+英+第2+第3 : 日本語、英語、第2外国語の音声メッセージに続いて、第3外国語の音声メッセージを放送します。

<非常放送> 音声メッセージ
1:日本語 2:日本語+英語
3:日+英+第2 4:日+英+第2+第3
数字 ← →:選択 確定:確定

※第2外国語は中国語、第3外国語は韓国語が、標準で設定されています。

③非常起動時に開始する放送を設定します。
発信機起動および非常電話起動、または手動起動時に発報放送を放送する場合は「1：発報放送」を、火災放送をする場合は「2：火災放送」を選択して下さい。
カーソルキーで選択しましたら、確定スイッチを押します。

<非常放送> 音声メッセージ
発報・火災開始選択してください
1:発報放送 2:火災放送
数字 ← →:選択 確定:確定

④発報放送の連動、一斉を選択します。
カーソルキーで選択しましたら、確定スイッチを押します。
非常業務操作ユニットREE-3521にある、設定した機能の表示灯が点灯します。

- ・発報連動 : 出火階及び連動階に発報放送を放送します。
- ・発報連動一斉 : 全ての放送階に発報放送を放送します。
- ・発報連動停止 : 発報放送は放送せず火災音信号を鳴動します。

<非常放送> 音声メッセージ
1:発報連動 2:発報連動一斉
3:発報連動停止
数字 ← →:選択 確定:確定

⑤発報放送の音声メッセージの繰り返し設定をします。
繰り返し回数・間隔を設定する場合は、「1」を選択して確定スイッチを押し、⑥へ進んでください。
音声メッセージを火災放送に移行するまで連続して放送する場合は、「2」を選択して確定スイッチを押すと音声メッセージの設定は終了になります。

<非常放送> 音声メッセージ
発報放送 設定
1:繰り返し回数・間隔 2:連続
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑥繰り返し回数を2～5回の範囲で入力します。
入力しましたら、確定スイッチを押します。

<非常放送> 音声メッセージ
繰り返し回数 2回
繰り返し間隔 05秒
数字 ↑ ↓:選択 確定:次画面

⑦繰り返し間隔を5～60秒の範囲で入力します。
入力したら、確定スイッチを押します。

音声メッセージの設定は以上です。

<非常放送> 音声メッセージ
繰り返し回数 2回
繰り返し間隔 05秒
数字↑↓:選択 確定:確定

(4)スイッチ解除設定

①非常放送選択画面で「4:スイッチ解除」を選択し、確定スイッチを押します。

②放送階選択スイッチの操作で放送階を解除する場合、階別単位か、直上階を含めて解除するか設定します。
カーソルキーで選択したら、確定スイッチを押します。

スイッチ解除の設定は以上です。

<非常放送>
1:自火報 2:タイマー 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別 6:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送>
1:階別単位 2:直上階単位
数字 ← →:選択 確定:確定

(5)階別設定

・非常放送を手動起動する場合の放送階を設定します。

①非常放送選択画面で「5:階別」を選択し、確定スイッチを押します。

②放送階の設定を自火報入力と同じにする場合は「1:はい」を選択し、確定スイッチを押して階別の設定を終わります。
自火報入力とは異なる設定にする場合は、「2:いいえ」を選択し、確定スイッチを押して③へ進みます。

③階別プログラム番号を入力し、確定スイッチを押します。

④指定する出火階の放送階選択スイッチを押して出火階表示灯を点灯させ、確定スイッチを押します。

⑤放送する放送階の放送階選択スイッチを押して作動表示灯を点灯させ、確定スイッチを押します。

<非常放送>
1:自火報 2:タイマー 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別 6:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> 階別設定
自火報と同じ設定ですか
1:はい 2:いいえ
数字 ← →:選択 確定:次画面

<非常放送> 階別設定
階別プログラム No. 001
数字↑↓:入力 確定:次画面

<非常放送> 階別設定
階別プログラム No. 001
出火階を指定してください。
確定:次画面

<非常放送> 階別設定
階別プログラム No. 001
放送階を指定してください。
確定:次画面

書込設定のしかた



⑥階別プログラムと連動して出力するタリー番号を入力し、確定スイッチを押します。

階別の設定は以上です。

<非常放送> 階別設定
階別プログラム No. 001
タリー番号 **00**
数字↑↓:入力 確定:確定

(6)音量設定

・音量の設定はパスワードが必要になります。音量を変更したい場合は、弊社営業所にお問い合わせください。

①非常放送選択画面で「6：音量」を選択し、確定スイッチを押します。

<非常放送>
1:自火報 2:タイマー 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別 **6:音量**
数字 ← →:選択 確定:次画面

②パスワード入力して、確定スイッチを押します。

<非常放送> 音量設定
パスワードを入力して下さい
数字:入力 確定:次画面

③音量を設定したいシグナル音を選択し、確定スイッチを押します。

<非常放送> 音量設定
1:第1シグナル音
2:第2シグナル音
↑:前 ↓:次 確定:次画面

④カーソルキーを操作して音量を設定可能な範囲で調整が可能です。放送階を選択すると、設定された音量で出力します。
音量が決まりましたら、確定スイッチを押します。データは保存されます。出力は停止し、選択された放送階も解除されます。

<非常放送> 音量設定
第2シグナル音量 **28**
放送階を選択して下さい
↑↓:選択 確定:確定

音量の設定は以上です。

■業務放送の設定

(1)優先順位の設定

①システム設定選択画面で「6：業務」を選択し、確定スイッチを押します。



②「1：優先順位」を選択し、確定スイッチを押します。



③緊急放送の優先順位を設定します。
「1：緊急」を選択し、確定スイッチを押します。



④優先する条件を選択し、確定スイッチを押します。

- ・後取り : 最後に入力された信号を優先して出します。
- ・緊急放送スイッチ : 緊急放送スイッチを優先して出力します (緊急放送スイッチ内は後取り優先)。
- ・緊急制御端子 : 緊急制御端子の入力を優先して出力します。(緊急制御端子は番号順に一位～三位で固定)



⑤業務放送の優先順位を設定します。
「2：一般」を選択し、確定スイッチを押します。



⑥入力信号の優先順位を設定します。
「1：入力優先順位」を選択し、確定スイッチを押します。



⑦確定スイッチを押す毎に、入力端子が切り替わりますので、カーソルキーの操作で順位を1～7で入力して確定スイッチを押します。同一順位に設定することも可能です。

- ・本体の順位 : 予備1の順位
- ・非常RMの順位 : 予備2の順位
- ・一般RMの順位 : ページングの順位
- ・時報チャイムの順位



⑧⑦で同一順位に設定した入力信号の優先順位を設定します。
「2：同一順位内優先」を選択し、確定スイッチを押します。



<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送>
1:優先順位 2:外部制御
3:緊急放送制御 4:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 優先順位
1:緊急 2:一般
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 緊急優先順位
1:後取り 2:緊急放送スイッチ
3:緊急制御端子
数字 ← →:選択 確定:確定

<業務放送> 優先順位
1:緊急 2:一般
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 一般優先順位
接続機器の優先順位
1:入力優先順位 2:同一順位内優先
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 一般優先順位
本体の順位 1位
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

<業務放送> 一般優先順位
接続機器の優先順位
1:入力優先順位 2:同一順位内優先
数字 ← →:選択 確定:次画面

書込設定のしかた



- ⑨優先する方法を設定し、確定スイッチを押します。
- ・ミキシング：
同一順位の各入力信号をミキシングして出力します。
 - ・後取り優先：
最後に入力された信号を優先して出力します。

優先順位の設定は以上です。

<業務放送> 一般優先順位
1: **ミキシング** 2: 後取り優先

数字 ← →: 選択 確定: 確定

(2)外部制御の設定

- ・基本制御端子盤ユニットまたは増設制御端子盤ユニットの外部制御入力端子の設定をおこないます。

- ①「2：外部制御」を選択し、確定スイッチを押します。

<業務放送>
1: 優先順位 2: **外部制御**
3: 緊急放送・制御 4: 音量
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

- ②カーソルキーを操作して制御入力番号を入力し、確定スイッチを押します。

<業務放送> 外部制御
制御入力番号 **001**
数字 ↑ ↓: 入力 確定: 次画面

- ③カーソルキーを操作して入力音声を設定し、確定スイッチを押します。

<業務放送> 外部制御 No.001
1: **一般RM**
2: 時報チャイム
↑: 前 ↓: 次 確定: 次画面

- ④放送階を指定します。
放送させる放送階選択スイッチを押して、作動表示灯を点灯させ、確定スイッチを押します。

<業務放送> 外部制御 No.001
音声入力 一般RM
放送階を指定してください。
確定: 次画面

- ⑤出力モードを、通常か緊急に設定します。
緊急の場合は、スピーカーのアッテネーターがパスされて放送されます。(三線式で配線されている場合)

<業務放送> 外部制御 No.001
1: **通常** 2: 緊急
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

- ⑥設定した外部制御に連動するタリー出力を設定します。
カーソルキーを操作して、タリー番号を入力し、確定スイッチを押します。

<業務放送> 外部制御 No.001
タリー番号 **00**
数字 ↑ ↓: 入力 確定: 確定

- ⑦②～⑥を繰り返して、他の外部制御を設定します。
設定が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

外部制御の設定は以上です。

(3)緊急放送・制御の設定

- ・緊急放送の設定：操作部にある緊急放送スイッチ1、2、3にメッセージを割り当てます。(手順③から)
- ・緊急制御の設定：基本制御端子盤ユニット(RJK-3300)にある緊急制御入力端子1、2、3にメッセージまたは外部音源を割り当てます。(手順⑨から)

①「3：緊急放送・制御」を選択し、確定スイッチを押します。



②緊急放送時に非常放送制御端子(24Vブレーク)の出力設定をして、確定スイッチを押します。
 ・ON：24Vブレーク
 ・OFF：常時24V出力



③緊急放送と緊急制御の音声メッセージを設定します。
 まず、「1：緊急放送」を選択し、確定スイッチを押します。



④設定する放送スイッチ番号を1～3で入力し、確定スイッチを押します。



⑤緊急放送メッセージ番号を1～10の中から選択し、確定スイッチを押します。設定しない場合は『00』と設定します。(メッセージ内容は5頁を参照)



⑥緊急放送メッセージの放送回数を、1回または連続で選択し、確定スイッチを押します。



⑦設定した緊急放送に連動するタリ-出力を設定します。
 カーソルキーを操作して、タリ-番号を入力し、確定スイッチを押します。



⑧設定したデータを保存し、次の放送スイッチの設定画面に移ります。④～⑦を繰り返して、放送スイッチを設定します。設定が終わりましたら、戻るスイッチを押します。



⑨次に緊急制御の音声メッセージを設定します。
 「2：緊急制御」を選択し、確定スイッチを押します。



<業務放送>
 1:優先順位 2:外部制御
 3:緊急放送・制御 4:音量
 数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 緊急
 EMG24V 出力は
 1:ON 2:OFF
 数字 ← →:選択 確定:確定

<業務放送> 緊急選択
 1:緊急放送 2:緊急制御
 数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 緊急放送
 放送スイッチ番号 1
 数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

<業務放送> 緊急放送 1
 メッセージ番号 01
 「メッセージ 1」
 数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

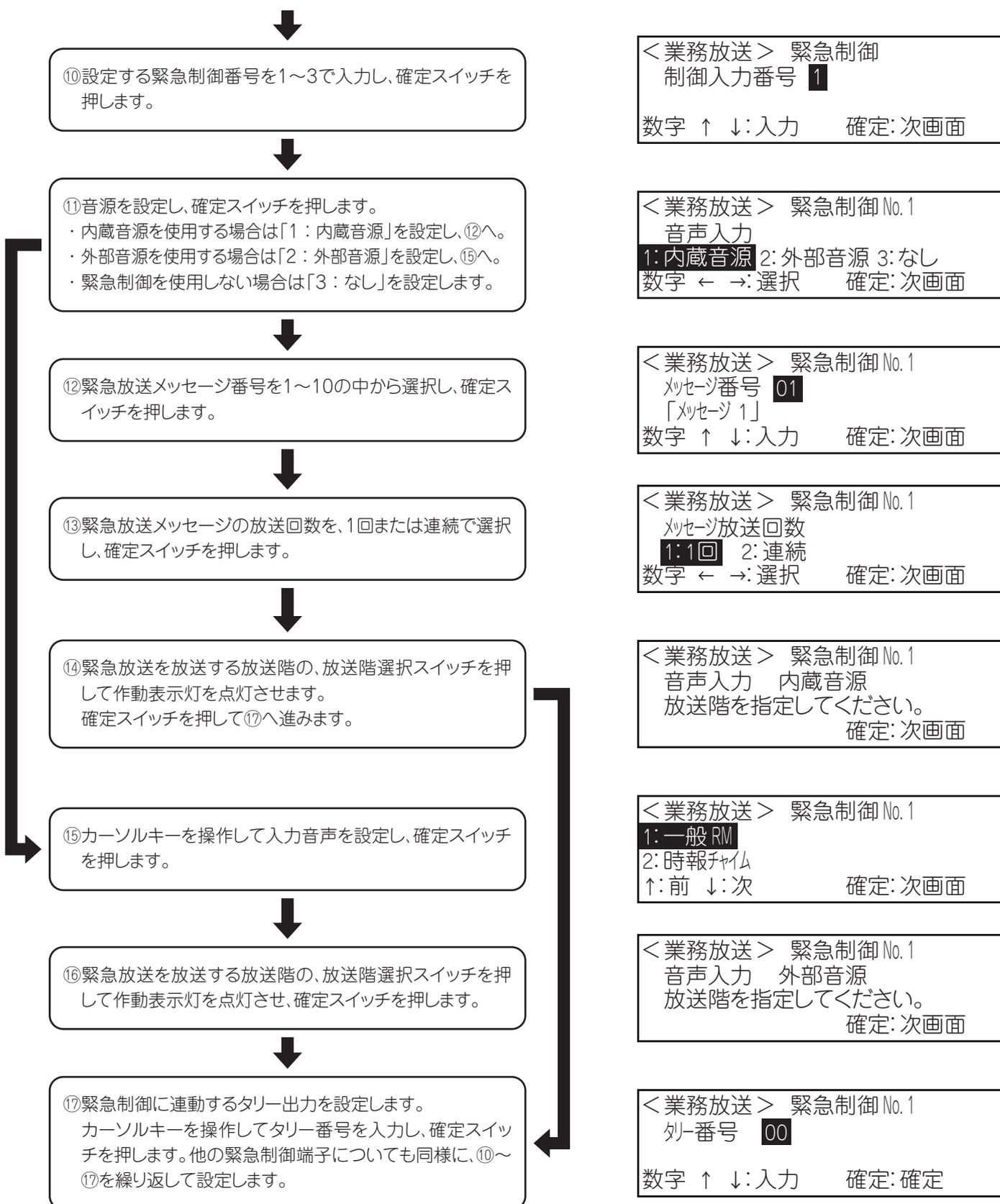
<業務放送> 緊急放送 1
 メッセージ放送回数
 1:1回 2:連続
 数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 緊急放送 1
 タリ-番号 00
 数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

<業務放送> 緊急放送
 放送スイッチ番号 2
 数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

<業務放送> 緊急選択
 1:緊急放送 2:緊急制御
 数字 ← →:選択 確定:次画面

書込設定のしかた



(4) 音量の設定

①「4：音量」を選択し、確定スイッチを押します。



②カーソルキーを操作して設定する項目を選択し、確定スイッチを押します。



③カーソルキーを操作して、音量を0～31の範囲で調整可能です。放送階を選択すると、設定された音量で出力します。音量が決まりましたら、確定スイッチを押します。データは保存されます。出力は停止し、選択された放送階も解除されます。



④②～③を繰り返して、他の入力端子の設定をします。

音量の設定は以上です。

<業務放送>
1:優先順位 2:外部制御
3:緊急放送・制御 4:音量
数字 ← →:選択 確定:次画面

<業務放送> 音量設定
1:チャム
2:緊急放送1
↑:前 ↓:次 確定:次画面

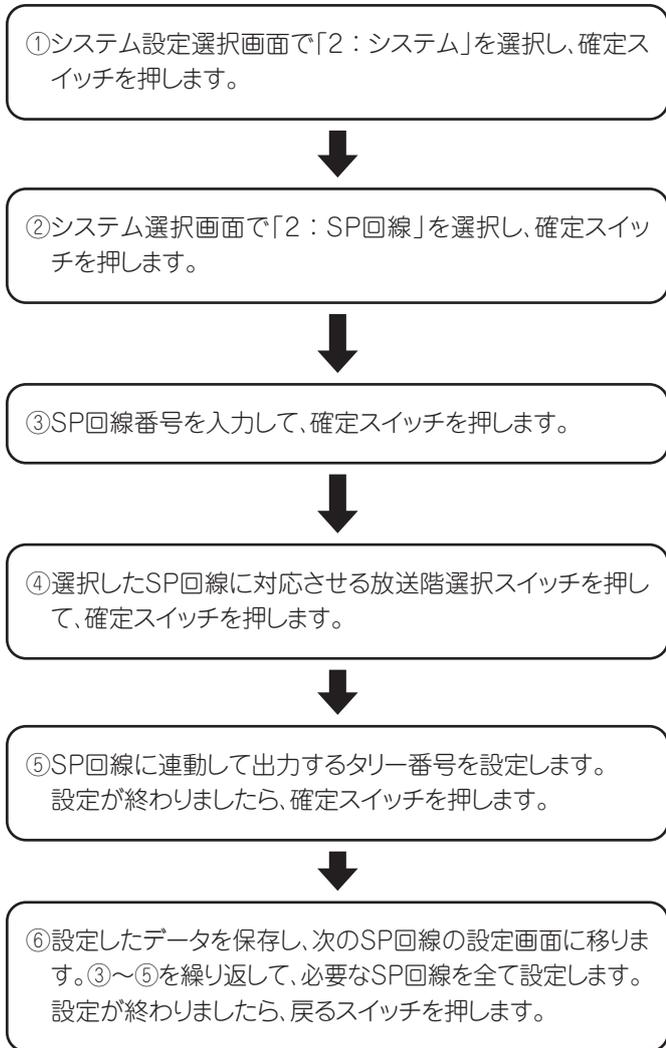
<業務放送> 音量設定
チャム音量 28
放送階を選択してください
↑↓:選択 確定:確定

書込設定のしかた

■SP回線の設定

●SP回線は放送階選択スイッチの番号順で設定されています。

放送階選択スイッチの変更、ブロックスイッチの設定等を行う場合、対応するSP回線の登録を変更します。



SP回線の設定は以上です。

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>
1:ブロック 2:SP回線 3:ブザー 4:汎用
5:蓄電池 6:LCD濃淡 7:緊急用電源
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> SP回線
SP回線番号 001
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

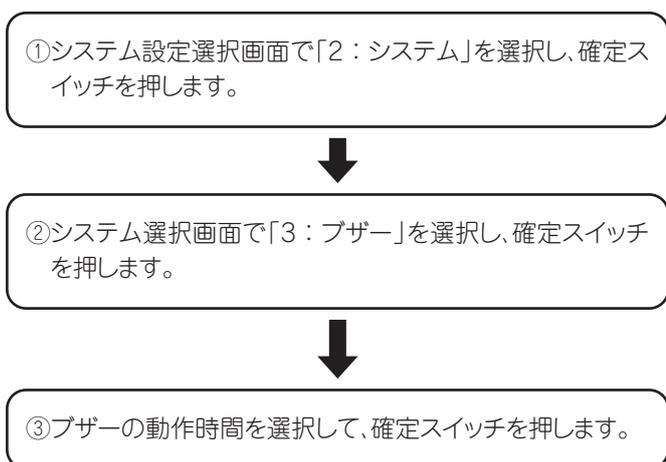
<システム> SP回線
SP回線番号 001
対応する放送階選択スイッチを押す。
確定:次画面

<システム> SP回線
SP回線番号 001
タリー番号 00
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

<システム> SP回線
SP回線番号 002
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

■ブザー(異常時)の設定

●通信回線異常、システム異常、SP回線短絡異常、ローカルカット異常、マイク異常時のブザー音の設定をします。



ブザーの設定は以上です。

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>
1:ブロック 2:SP回線 3:ブザー 4:汎用
5:蓄電池 6:LCD濃淡 7:緊急用電源
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> ブザー
ブザーの動作時間を選択
1:連続動作 2:2分間
数字 ← →:選択 確定:確定

■ 汎用出力の設定

※汎用出力の取り出しには、専用ケーブルが必要になります。

①システム設定選択画面で「2：システム」を選択し、確定スイッチを押します。



②システム選択画面で「4：汎用」を選択し、確定スイッチを押します。
汎用出力は以下の状態のときに出力します。
1：火災
2：緊急地震放送
3：異常



③「1：火災放送」を選択し、確定スイッチを押します。



④汎用出力する状態を選択し、確定スイッチを押します。
汎用出力を火災放送時に常時出力させるときは「1：火災放送時出力」を、火災放送の音声メッセージ時に出力させるときは「音声メッセージのみ出力」を選択し、確定スイッチを押します。



⑤「2：異常」を選択し、確定スイッチを押します。



⑥汎用出力する異常状態は↑↓キーを操作して選択し、／キーを押して設定します。
異常状態は複数選択することができます。
／キーを押して選択された異常状態は反転表示されます。この状態で↑↓キーを操作して他の異常状態を選択し、さらに／キーを押すと、複数の設定をおこないます。
1：通信回線異常 4：システム異常
2：SP回線短絡異常 5：ローカルカット異常
3：マイク異常
選択したら、確定スイッチを押します。

汎用出力の設定は以上です。

<システム設定>

1: 構成 2: **システム** 3: 多元 4: 地震
5: 非常 6: 業務 7: 確認 8: 時刻
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<システム>

1: フック 2: SP回線 3: プザー 4: **汎用**
5: 蓄電池 6: LCD濃淡 7: 緊急用電源
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<システム> 汎用

1: **火災放送** 2: 異常

数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<システム> 汎用 火災放送

1: **火災放送時出力**

2: 音声メッセージのみ出力

数字 ← →: 選択 確定: 確定

<システム> 汎用

1: 火災放送 2: **異常**

数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<システム> 汎用 異常状態

1: **通信回線異常**

2: SP回線短絡異常

↑: 前 ↓: 次 /: 選択 確定: 確定

書込設定のしかた

■LCD画面の濃淡の設定

●LCD画面の文字が見えにくい場合に、以下の手順で濃淡の調整をおこなってください。

①システム設定選択画面で「2：システム」を選択し、確定スイッチを押します。



②「6：LCD濃淡」を選択し、確定スイッチを押します。



③↑↓キーを操作して、濃淡を調節し、確定スイッチを押します。

LCD濃淡の設定は以上です。

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>

1:ロック 2:SP回線 3:プザ- 4:汎用
5:蓄電池 6:LCD濃淡 7:緊急用電源
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> LCD濃淡

文字を濃くするには ↑ を押す。
文字を薄くするには ↓ を押す。
確定:確定

■緊急用電源の設定

●緊急用蓄電池を使用する場合に設定します。

①システム設定選択画面で「2：システム」を選択し、確定スイッチを押します。



②次に「7：緊急用電源」を選択し、確定スイッチを押します。



③緊急用電源を使用していない場合は「1：無し」を、緊急用電源を使用している場合は「2：有り」を選択し、確定スイッチを押します。

緊急用電源の設定は以上です。

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>

1:ロック 2:SP回線 3:プザ- 4:汎用
5:蓄電池 6:LCD濃淡 7:緊急用電源
数字 ← →:選択 確定:次画面

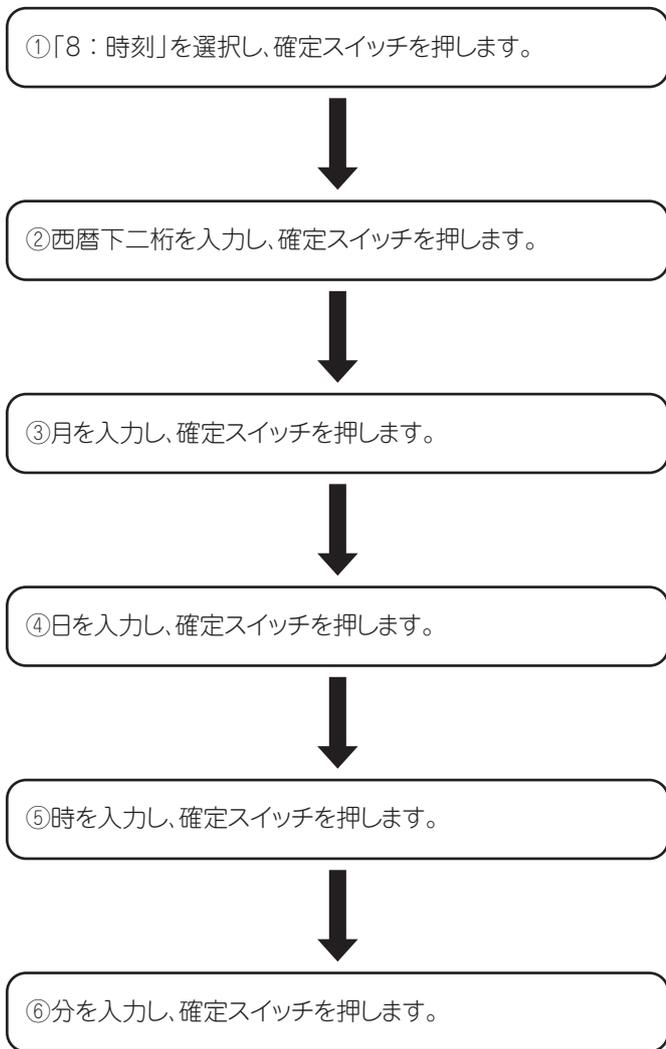
<システム> 緊急用電源

1:無し 2:有り

数字 ← →:選択 確定:確定

■時刻の設定

●時刻設定はログ表示のために使用します。非常放送、異常等の発生時刻を表示するために設定します。



時刻の設定は以上です。

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<時刻>
年月日 = 2000/00/00
年/月/日の順に入力
数字 ↑ ↓:入力 確定:次頁

<時刻>
年月日 = 2022/00/00
年/月/日の順に入力
数字 ↑ ↓:入力 確定:次頁

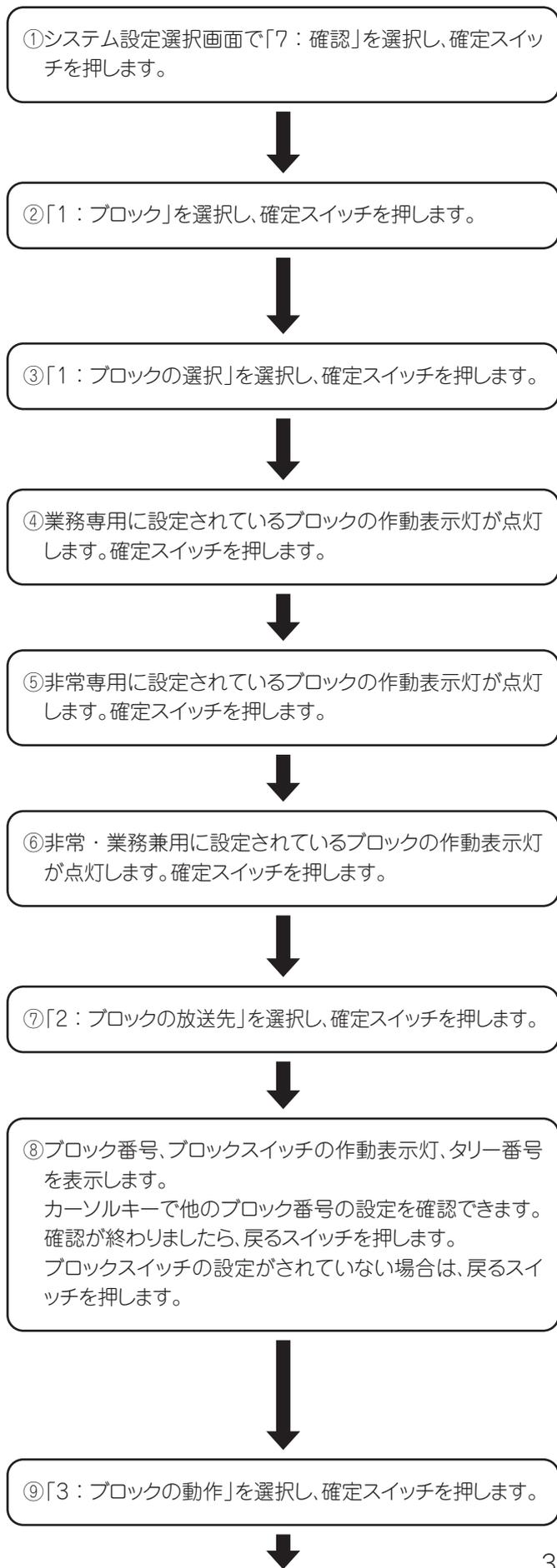
<時刻>
年月日 = 2022/11/00
年/月/日の順に入力
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

<時刻>
時刻 = 00:00
時:分を24時間表示で入力
数字 ↑ ↓:入力 確定:次頁

<時刻>
時刻 = 13:00
時:分を24時間表示で入力
数字 ↑ ↓:入力 確定:初期画面

書込設定の確認のしかた

(1) ブロックスイッチの確認



<システム設定>
1:構成 2:システム 3:多元 4:地震
5:非常 6:業務 7:確認 8:時刻
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認>
1:ブロック 2:SP回線 3:多元
4:地震 5:非常 6:業務 7:その他
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> ブロック
1:ブロックの選択 2:ブロックの放送先
3:ブロックの動作
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> ブロック
業務専用設定されている
ブロック
確定:次画面

<確認> ブロック
非常専用設定されている
ブロック
確定:次画面

<確認> ブロック
非常・業務兼用に設定されている
ブロック
確定:初期画面

<確認> ブロック
1:ブロックの選択 2:ブロックの放送先
3:ブロックの動作
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> ブロック
ブロック番号 001
タリー番号 01
↑:前 ↓:次 確定:次画面

<確認> ブロック
ブロックスイッチに設定されている
スイッチはありません。
戻る:初期画面へ

<確認> ブロック
1:ブロックの選択 2:ブロックの放送先
3:ブロックの動作
数字 ← →:選択 確定:次画面



⑩ブロックスイッチの動作を表示します。
確認が終わりましたら確定スイッチを押します。

ブロックスイッチの確認は以上です。

<確認> ブロック
放送階選択スイッチ連動

確定: 初期画面

(2)SP回線の確認

①「2：SP回線」を選択し、確定スイッチを押します。



②SP回線番号、作動表示灯、タリ-番号を表示します。
カーソルキーで他のSP回線も確認できます。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

SP回線の確認は以上です。

<確認>
1:ブロック 2:SP回線 3:多元
4:地震 5:非常 6:業務 7:その他
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> SP回線
SP回線番号 001
タリ-番号 01
↑:前 ↓:次 確定:次画面

(3)多元放送の確認

①「3：多元」を選択し、確定スイッチを押します。



②入力マトリックスユニットの出力番号および優先順位の表示、制御動作表示灯の点灯、設定されている放送階の作動表示灯を点灯します。
確定スイッチで次の出力番号設定を確認できます。確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。
入力マトリックスユニットが接続されていない場合は、戻るスイッチを押します。

多元放送の確認は以上です。

<確認>
1:ブロック 2:SP回線 3:多元
4:地震 5:非常 6:業務 7:その他
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> 多元
出力番号 01
優先順位 入力番号順
確定:次画面

<確認> 多元
マトリックスユニットは接続されていません。
戻る:初期画面

(4)緊急地震放送の確認

①「4：地震」を選択し、確定スイッチを押します。



②シグナル音および緊急地震放送と連動して出力するタリ-番号を表示します。
放送先が「一斉放送」を選択している場合はすべての作動表示灯を点灯し、「放送先を選択」を選択している場合は、選択された放送階の作動表示灯を点灯します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

緊急地震放送の確認は以上です。

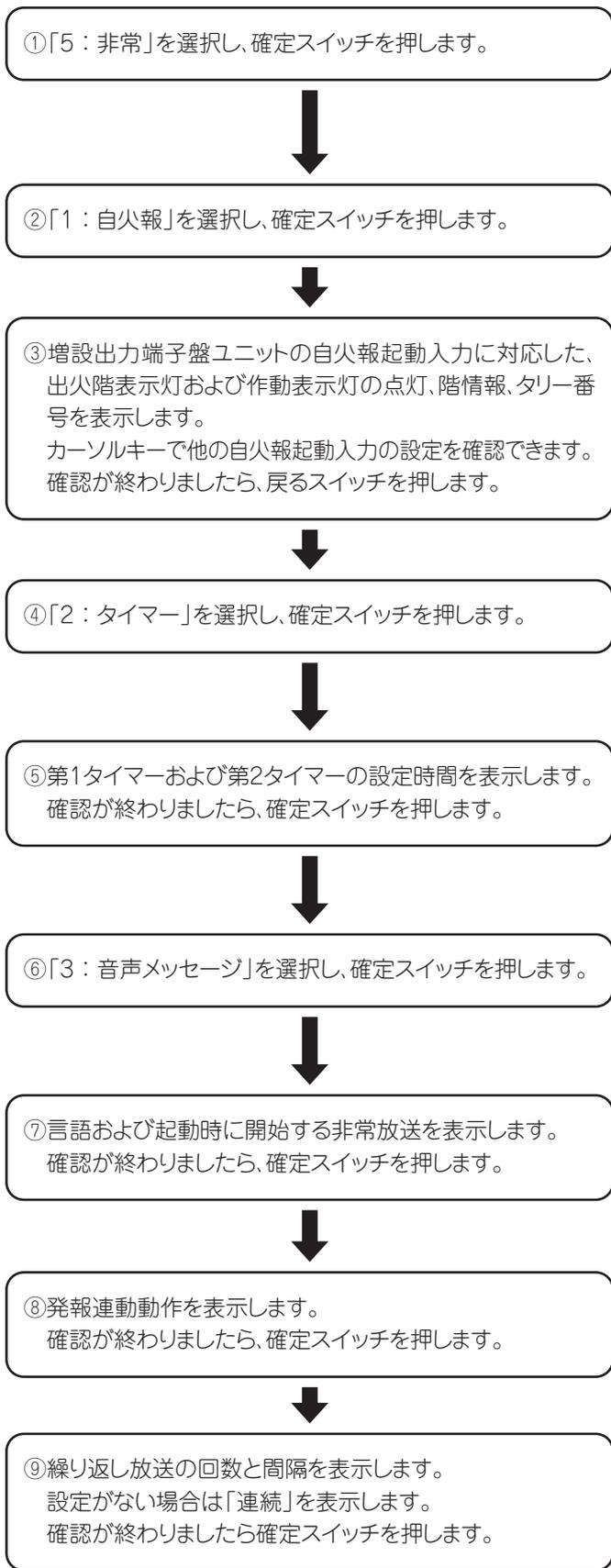
<確認>
1:ブロック 2:SP回線 3:多元
4:地震 5:非常 6:業務 7:その他
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> 緊急地震放送(一斉)
シグナル音 NHK
タリ-番号 01
確定:初期画面

(画面は一斉放送を選択している場合)

書込設定の確認のしかた

(5)非常放送の確認



<確認>
1: 700k 2: SP回線 3: 多元
4: 地震 5: 非常 6: 業務 7: その他
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 非常放送
1: 自火報 2: タイマー 3: 音声メッセージ
4: スイッチ解除 5: 階別
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 自火報設定 001
階情報 No. 001 「地下10階」
列番号 00
↑: 前 ↓: 次 確定: 次画面

<確認> 非常放送
1: 自火報 2: タイマー 3: 音声メッセージ
4: スイッチ解除 5: 階別
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 非常放送
第1タイマー設定時間 120 秒
第2タイマー設定時間 120 秒
確定: 初期画面

<確認> 非常放送
1: 自火報 2: タイマー 3: 音声メッセージ
4: スイッチ解除 5: 階別
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 非常放送
言語 日本語のみ
発報・火災開始選択 発報放送
確定: 次画面

<確認> 非常放送
発報連動動作 発報連動
確定: 次画面

<確認> 非常放送
繰り返し回数 2 回
繰り返し間隔 5 秒
確定: 初期画面

⑩「4：スイッチ解除」を選択し、確定スイッチを押します。

⑪放送階のスイッチ解除の設定を表示します。
確認が終わりましたら確定スイッチを押します。

⑫「5：階別」を選択し、確定スイッチを押します。

⑬階別動作の設定を表示します。
自火報と同じ設定の場合は、確定スイッチを押して確認を
終わります。

自火報と異なる設定の場合は、設定されている出火階表
示灯及び作動表示灯を点灯し、設定されている階情報、タ
リ-番号を表示します。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

非常放送の確認は以上です。

<確認> 非常放送
1:自火報 2:タイマ- 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> 非常放送
スイッチ解除動作 直上階単位
確定:初期画面

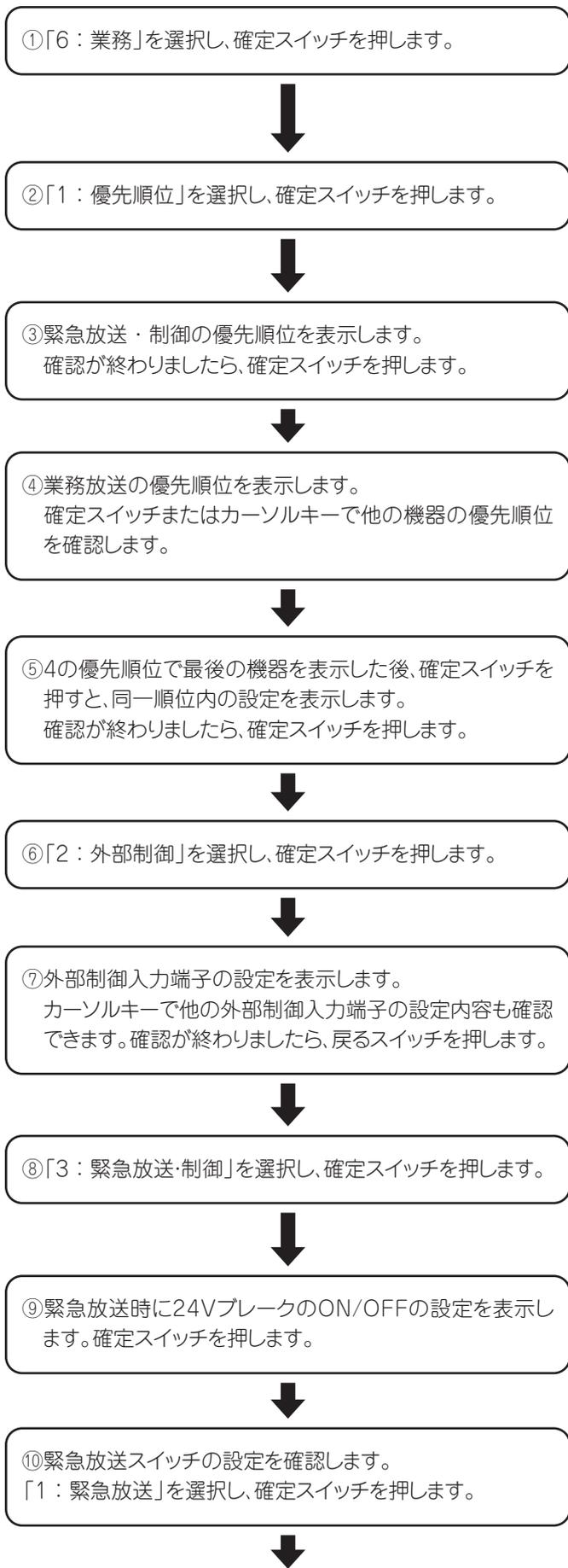
<確認> 非常放送
1:自火報 2:タイマ- 3:音声メッセージ
4:スイッチ解除 5:階別
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> 非常放送
階別動作 自火報と同じ
確定:初期画面

<確認> 自火報設定 001
階情報 No. 001 「地下10階」
タリ-番号 00
↑:前 ↓:次 確定:次画面

書込設定の確認のしかた

(6) 業務放送の確認



<確認>
1: 70ヶ 2: SP回線 3: 多元
4: 地震 5: 非常 6: **業務** 7: その他
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認>
1: **優先順位** 2: 外部制御
3: 緊急放送・制御
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 緊急優先順位
緊急放送・制御の優先順位
1: 後取り優先
確定: 次画面

<確認> 優先順位
本体 1位
非常RM 2位
↑: 前 ↓: 次 確定: 次画面

<確認> 優先順位
同一順以内優先 1: ミツグ
確定: 初期画面

<確認>
1: 優先順位 2: **外部制御**
3: 緊急放送・制御
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 外部制御 No.001
音声入力 一般RM 通常制御
外番号 00
↑: 前 ↓: 次 確定: 次画面

<確認>
1: 優先順位 2: 外部制御
3: **緊急放送・制御**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<確認> 緊急放送
EMG24V 出力は ON
確定: 次画面

<確認>
1: **緊急放送** 2: 緊急制御
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

①緊急放送スイッチの設定を表示します。
カーソルキーで他の緊急放送スイッチの設定内容も確認
できます。確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

<確認> 緊急放送 1
チャンネル番号 01 連続
列番号 00
↑:前 ↓:次 確定:次画面

②緊急制御端子の設定を確認します。
「2: 緊急制御」を選択し、確定スイッチを押します。

<確認>
1:緊急放送 2:緊急制御
数字 ← →:選択 確定:次画面

③緊急制御端子の設定内容を表示します。
カーソルキーで他の緊急制御端子の設定も確認できま
す。確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

<確認> 緊急制御 No.01
内蔵音源番号 01 回数 1回
列番号 00
↑:前 ↓:次 確定:次画面

(内蔵音源選択時の画面)

業務放送の確認は以上です。

(7)ブザーおよび汎用出力の設定確認

①「7: その他」を選択し、確定スイッチを押します。

<確認>
1:ロック 2:SP回線 3:多元
4:地震 5:非常 6:業務 7:その他
数字 ← →:選択 確定:次画面

②「1: ブザー」を選択し、確定スイッチを押します。

<確認> その他
1:ブザー 2:汎用
数字 ← →:選択 確定:次画面

③ブザー動作時間の設定を表示します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

<確認> その他
ブザー動作時間 連続動作
確定:初期画面

④基本制御出力端子盤ユニットの汎用出力の設定を確認し
ます。
「2: 汎用」を選択し、確定スイッチを押します。

<確認> その他
1:ブザー 2:汎用
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑤火災放送時の出力設定を表示します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

<確認> その他 火災放送
音声メッセージのみ出力
確定:次画面

⑥異常状態の設定を表示します。
見えない部分はカーソルキーで確認できます。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

<確認> その他 異常
1:通信回線異常
3:マイク異常
↑:前 ↓:次 確定:次画面

ブザーおよび汎用出力の確認は以上です。

総合点検のしかた

総合点検書込操作によって、定期点検時の本機の動作を設定できます。

■ 設定の流れ

次の順序で総合点検書込操作をおこなってください。

点検条件の設定

点検条件の確認

点検開始

(1) 点検条件の設定

- ・ 点検条件の設定では、点検時の動作を設定します。
- ・ 点検条件を変更しない場合は点検条件を確認し、点検を開始してください。

①「2：点検条件設定」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検>
1: 点検開始 2: 点検条件設定
3: 点検条件確認
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

②点検時の音源・音量を設定します。
「2：点検音源」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定
1: 点検音源 2: SP回線 3: EMG24V
4: 汎用出力 5: 列-制御 6: 解除
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

③緊急地震放送点検用の音源を選択します。
カーソルキーを操作して、4種類の音源から選択し、確定スイッチを押します。
・ 地震音源：緊急地震放送 ・ 音源2：グリーンスリーブス
・ 音源1：家路 ・ 音源3：野ばら

<総合点検> 点検用音源選択
1: 地震音源 2: 音源 1
3: 音源 2 4: 音源 3
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

④緊急地震放送点検用音源の音量を設定します。
カーソルキーを操作して、音量を0～31の範囲で調整可能です。放送階を選択すると、設定された音量で出力します。音量が決まりましたら、確定スイッチを押します。データは保存されます。出力は停止し、選択された放送階も解除されます。

<総合点検> 地震音量設定
点検用音源音量 28
放送階を選択して下さい
↑ ↓: 選択 確定: 確定

⑤非常放送点検用の音源を選択します。
カーソルキーを操作して、4種類の音源から選択し、確定スイッチを押します。
・ 非常音源：非常放送 ・ 音源2：グリーンスリーブス
・ 音源1：家路 ・ 音源3：野ばら

<総合点検> 点検用音源選択
1: 非常音源 2: 音源 1
3: 音源 2 4: 音源 3
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

⑥非常放送点検用音源の音量を設定します。
カーソルキーを操作して、音量を0～31の範囲で調整可能です。放送階を選択すると、設定された音量で出力します。音量が決まりましたら、確定スイッチを押します。データは保存されます。出力は停止し、選択された放送階も解除されます。

<総合点検> 非常音量設定
点検用音源音量 28
放送階を選択して下さい
↑ ↓: 選択 確定: 確定

⑦総合点検中のSP回線の動作を選択します。
「2：SP回線」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定
1: 点検音源 2: SP回線 3: EMG24V
4: 汎用出力 5: 列-制御 6: 解除
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

⑧SP回線に出力させない場合は「1：OFF」を、選択された信号によりSP回線に出力させる場合は「2：通常」を選択します。
選択しましたら、確定スイッチを押します。

<総合点検> SP回線選択

1:OFF 2:通常

数字 ← →:選択 確定:確定

⑨24V出力カッタリレーの動作を設定します。
「3：EMG24V」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定

1:点検音源 2:SP回線 **3:EMG24V**

4:汎用出力 5:外-制御 6:解除

数字 ← →:選択 確定:次画面

⑩総合点検中のEMG24V(24Vブレーク)の動作を選択し、確定スイッチを押します。

- ・非常連動：動作に連動してブレークします。
- ・常時ON：ブレークしません。24Vを常時出力します。
- ・常時OFF：常時ブレークします。24Vを常時出力しません。

<総合点検> EMG24V

1:非常連動 2:常時ON

3:常時OFF

数字 ← →:選択 確定:確定

⑪汎用出力の動作を設定します。
「4：汎用出力」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定

1:点検音源 2:SP回線 3:EMG24V

4:汎用出力 5:外-制御 6:解除

数字 ← →:選択 確定:次画面

⑫汎用出力の動作を選択し、確定スイッチを押します。
・通常：出力します。
・無効：出力しません。

<総合点検> 汎用出力選択

1:通常 2:無効

数字 ← →:選択 確定:確定

⑬タリー出力の動作を設定します。
「5：タリー制御」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定

1:点検音源 2:SP回線 3:EMG24V

4:汎用出力 **5:外-制御** 6:解除

数字 ← →:選択 確定:次画面

⑭タリー出力の動作を選択し、確定スイッチを押します。
・通常：出力します。
・無効：出力しません。

<総合点検> 外-制御選択

1:通常 2:無効

数字 ← →:選択 確定:確定

⑮総合点検の自動解除を設定します。
「6：解除」を選択し、確定スイッチを押します。

<総合点検> 条件設定

1:点検音源 2:SP回線 3:EMG24V

4:汎用出力 5:外-制御 **6:解除**

数字 ← →:選択 確定:次画面

⑯総合点検の自動解除の動作を選択し、確定スイッチを押します。

- ・1時間後：操作、動作を終了してから、1時間経過後に自動で解除します。
- ・解除動作せず：自動で解除しません。

<総合点検> 解除動作選択

操作後総合点検自動解除まで

1:1時間後 2:解除動作せず

数字 ← →:選択 確定:確定

総合点検のしかた

(2) 点検条件の確認

・点検条件の設定で設定した内容を確認します。

①「3：点検条件確認」を選択し、確定スイッチを押します。



②緊急地震放送点検用音源および音量を表示します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。



③非常放送点検用音源および音量を表示します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。



④SP回線制御、EMG24V(24Vブレーク)、汎用出力、タリ
一制御、解除動作の設定を表示します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

点検条件の確認は以上です。

<総合点検>
1:点検開始 2:点検条件設定
3:点検条件確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<総合点検> 点検条件
地震点検用音源 音源 1
音量 16
↑:前 ↓:次 確定:次画面

<総合点検> 点検条件
非常点検用音源 音源 1
音量 16
↑:前 ↓:次 確定:次画面

<総合点検> 点検条件
SP回線制御 OFF
EMG24V 常時 OFF
↑:前 ↓:次 確定:次画面

(3) 点検開始

・総合点検を開始します。

①「2：総合点検」を選択し、確定スイッチを押します。



②「1：点検開始」を選択し、確定スイッチを押します。



③総合点検に緊急地震放送を含めるか設定します。
・いいえ：非常放送が出来ない事があります。
・はい：緊急地震放送、非常放送が出来ない事があります。
設定しましたら、確定スイッチを押します。



④総合点検の再確認表示をします。
確定スイッチを押しますと点検を開始します。



⑤点検を開始します。
点検中は、<総合点検中>と表示し、点滅反転します。
点検を終了する場合は、戻るスイッチを押します。

点検のしかたは以上です。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検 3:0
4:バックアップ 5:初期化 6:オフオン
数字 ← →:選択 確定:次画面

<総合点検>
1:点検開始 2:点検条件設定
3:点検条件確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<総合点検>
総合点検に緊急地震放送を含めますか
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

<総合点検>
[注意] 非常放送が出来ない事
があります
戻る:点検終了 確定:点検開始

<総合点検中>
戻る:点検終了



注意

・設定内容によっては総合点検中に非常放送、緊急地震放送ができない事があります。

ログの確認のしかた

①「3：ログ」を選択し、確定スイッチを押します。



②非常放送、異常状態、停電および復旧等の履歴を表示します。
↓キーまたは確定スイッチを押すと、次(一つ前)の記録に移動します。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

ログの確認は以上です。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検 3:ログ
4:バックアップ 5:初期化 6:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<ログ> No.256
発報放送
発生時刻 22/11/01 11:25
↑:前 ↓:次 確定:次画面

■ログ記録項目一覧

No.	内容
1	停電復帰
2	緊急地震放送起動
3	緊急地震放送停止
4	発報放送
5	火災放送
6	確認信号
7	非常起動スイッチ/本体
8	非常起動スイッチ/リモコンNo.1~8
9	非常復旧スイッチ押下
10	非常起動ON/感知器No.1~200
11	非常起動OFF/感知器No.1~200
12	火災スイッチ押下
13	非火災スイッチ押下
14	第1タイマータイムアップ
15	第2タイマータイムアップ
16	一斉スイッチ押下
17	緊急一斉スイッチ押下
18	マイクスイッチ押下
19	緊急放送/手動入力No.1~3
20	緊急制御/起動入力No.1~3

No.	内容
21	緊急制御/起動解除No.1~3
22	放送階選択/No.1~200
23	放送階解除/No.1~200
24	放送復旧スイッチ押下
25	コンピューターリセット(切→入)
26	蓄電池異常
27	通信異常/リモコンNo.1~8
28	スピーカー回線異常/No.1~200
29	システム異常/本体スイッチ
30	システム異常/増設スイッチユニットNo.1~9
31	システム異常/増設出力ユニットNo.1~10
32	システム異常/基本制御ユニット
33	システム異常/マトリクスユニットNo.1~4
34	システム異常/非常リモコン本体スイッチ
35	システム異常/非常リモコン増設スイッチNo.1~9
36	本体マイク異常
37	非常リモコンマイク異常/No.1~8
38	ローカルカット異常
39	総合点検

バックアップのしかた

(1) 設定値の保存

- ・放送階や音声メッセージ等、現在設定されている内容を、本体の内蔵メモリーに保存します。
- ・USBメモリーに保存する場合は、42頁「USBメモリーの接続のしかた」をご覧ください。

①「4：バックアップ」を選択し、確定スイッチを押します。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検 3:ログ
4:バックアップ 5:初期化 6:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

②「1：設定値の保存」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ>

1:設定値の保存 2:設定値の書換
3:保存内容の確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

③設定内容を保存する場合は「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ>

設定内容を保存しますか?
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:次画面

④設定内容の保存が完了したら、戻るスイッチを押します。
※バックアップ中はキー操作を受付けません。

<バックアップ>

設定内容を保存しました
戻る:初期画面へ

設定値の保存は以上です。

(2) 設定値の書換

- ・放送階や音声メッセージ等を、本体の内蔵メモリーに保存されている設定内容に書き換えます。

①「2：設定値の書換」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ>

1:設定値の保存 2:設定値の書換
3:保存内容の確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

②設定内容に書き換える場合は「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ>

保存内容に書換えますか?
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

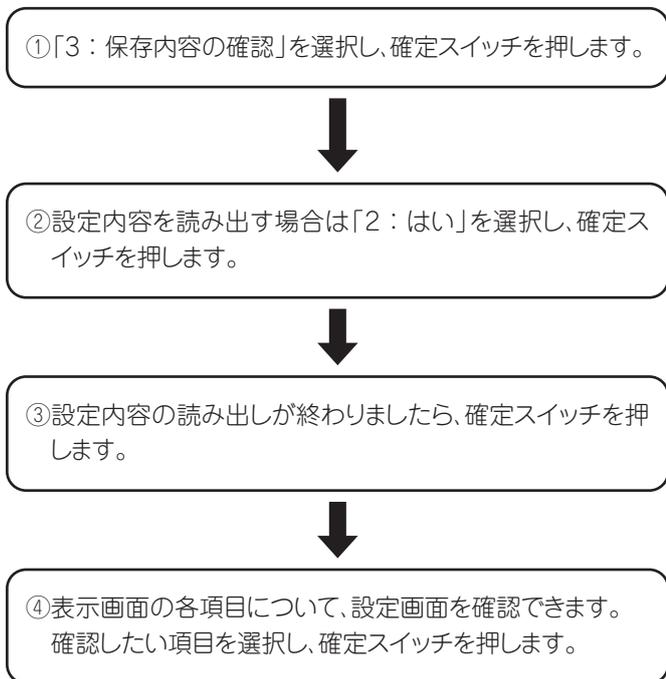
③設定内容の保存が完了したら、戻るスイッチを押します。
※バックアップ中はキー操作を受付けません。

<バックアップ>

設定値を保存内容に書換えました
戻る:初期画面へ

設定値の書換は以上です。

(3)保存内容の確認



保存内容の確認は以上です。

<バックアップ>
1: 設定値の保存 2: 設定値の書換
3: 保存内容の確認
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

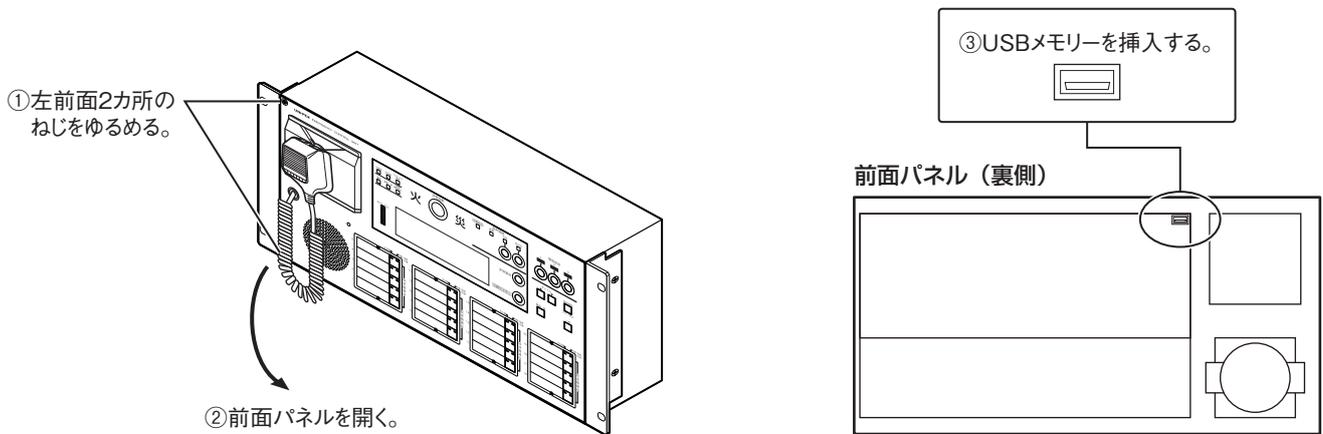
<バックアップ>
設定内容を読み出しますか
1: いいえ 2: はい
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<バックアップ>
保存内容を読み出しました
確定: 次画面

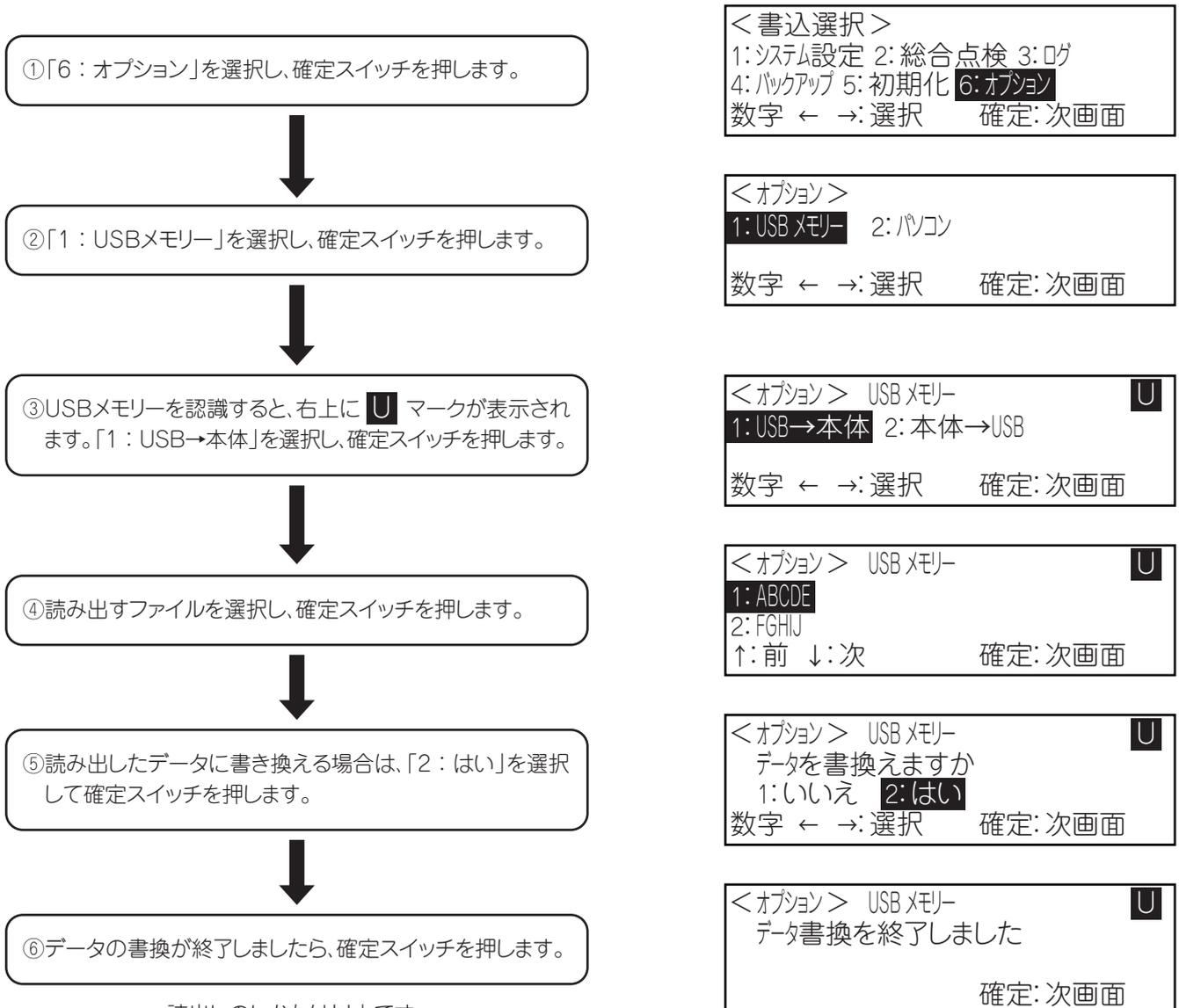
<バックアップ>
1: フック 2: SP回線 3: 多元
4: 地震 5: 非常 6: 業務 7: その他
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

USBメモリの接続のしかた

- 書き込み設定の内容をUSBメモリーに保存することができます。
またUSBメモリーに保存された設定を書込むことができます。



(1) USBメモリー読出し(設定内容のデータを、USBメモリーから本体に読み込む場合)



(2) USBメモリー書込み(設定内容のデータを、本体からUSBメモリーに書込む場合)

①「2: 本体→USB」を選択し、確定スイッチを押します。

<オプション> USBメモリー **U**
1: USB→本体 2: **本体→USB**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

②書込むデータを選択し、確定スイッチを押します。
ファイル名は、以下のように書込まれます。
・既存データ : progdata.dat
・バックアップデータ : progback.dat

<オプション> USBメモリー **U**
書込みデータを選択
1: **既存データ** 2: バックアップデータ
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

③データの書込みが終了しましたら、確定スイッチを押します。

<オプション> USBメモリー **U**
データ書き込みを終了しました
戻る: 継続 確定: 次画面

書込みのしかたは以上です。

(3) USBメモリーを抜く場合

①USBメモリーを抜くときは、戻るスイッチを押してください。
右上の **U** マークが消えたことを確認してから抜いてください。

<オプション> USBメモリー **U**
USBメモリーが挿入されています
USBメモリーを抜いて下さい
確定: 次画面へ

抜き方は以上です。

パソコンの接続について

- パソコンを接続して操作する場合は、支援ソフトが必要です。支援ソフトおよび操作方法については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 (通話料無料)

お客様ご相談センター

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。